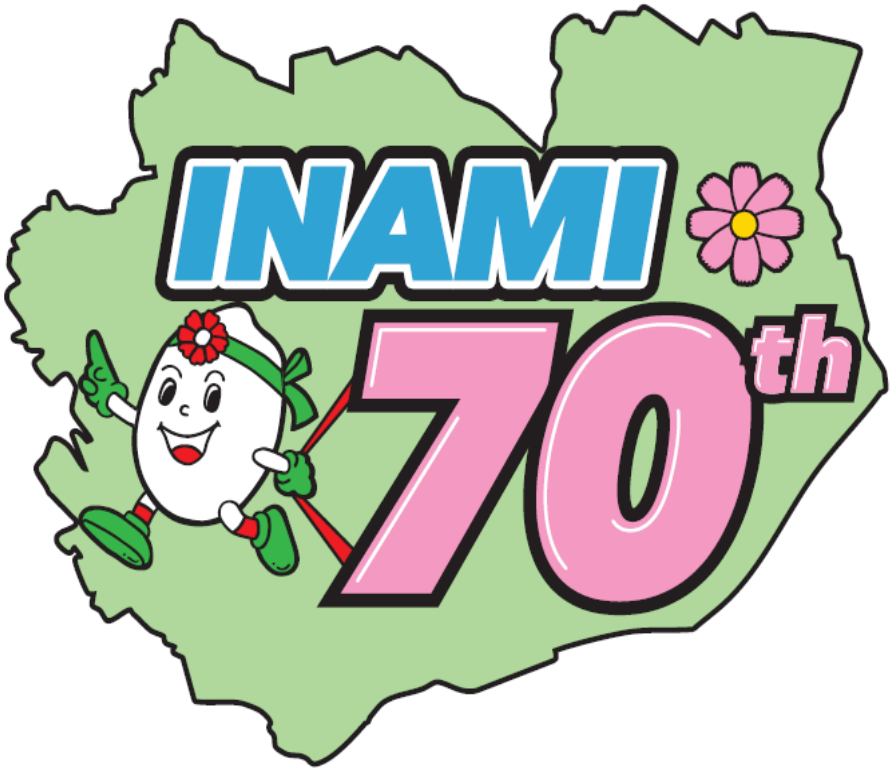
令和　7　年度

予　算　の　主　要　施　策



稲　美　町

目　次

款	区分	事　業　名	頁	課　名
総務費	重	デマンド型乗合タクシー運行事業	1	企画課
	重	ふるさと納税推進事業	2	企画課
	新	総合計画等策定事業	3	企画課
	70	町制施行70周年記念事業	4	企画課
民生費	70	町制施行70周年記念ラジオ体操事業	5	健康福祉課
	繰	住民税非課税世帯に対する給付金給付事業	6	地域福祉課
	拡	見守りカメラ維持管理事業	7	危機管理課/健康福祉課
	拡	防犯灯・街灯維持管理事業	8	危機管理課
	新	障がい福祉計画等策定事業	9	地域福祉課
	新	障がい者緊急短期入所支援事業	10	地域福祉課
	重	高齢者優待利用券交付事業	11	健康福祉課
	新	加古福祉会館空調設備改修（実施設計）事業	12	健康福祉課
	重	出産お祝い金支給事業	13	こども課
	拡	こどもの居場所づくり支援事業	14	こども課
	70	町制施行70周年記念親子コンサート事業	15	こども課
	拡	いなみっこ広場一時預かり保育事業	16	こども課
衛生費	拡	妊婦等包括支援事業	17	こども課
	拡	産後ケア事業	18	こども課
	拡	子どもの任意予防接種助成事業	19	こども課
	70	町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会事業	20	生活環境課
	拡	電気自動車等普及促進事業	21	生活環境課
	新	水道事業会計支出事業	22	水道課
	重	広域ごみ処理事業	23	生活環境課
農林水産業費	新	有機農業推進事業	24	産業課
	重	多面的機能支払事業	25	産業課
	重	基幹水利施設整備事業	26	産業課
	重	水利施設等保全高度化事業	27	産業課
	新	農村地域防災減災事業	28	産業課
	新	農業水路等長寿命化・防災減災事業	29	産業課
商工費	重	商工業振興補助事業	30	産業課
	70	町制施行70周年記念花火大会実施事業	31	産業課
	重	にぎわい創出補助事業	32	産業課
	70	稲美町プレミアム付商品券事業	33	産業課
土木費	重	町道維持補修事業	34	土木課
	重	町道草谷学校線歩道整備事業	37	土木課
	重	親元近居住宅取得等支援補助事業	39	都市計画課
	重	沿道活性化にぎわいづくり補助事業	40	都市計画課
	重	土地利用計画策定事業（市街化調整区域）	41	都市計画課
	重	田園集落まちづくり住宅新築促進事業	42	都市計画課
土木費	重	稲美北東部地区土地利用基本計画策定事業	43	都市計画課
	重	菊徳地区土地区画整理事業	44	都市計画課

款	区分	事　業　名	頁	課　名
	新	いなみアクアプラザ大規模改修（実施設計）事業	45	都市計画課
消防費	拡	消防団員処遇改善事業	46	危機管理課
教育費	拡	ＩＣＴ利活用学校支援事業	47	教育課
	重	幼・小・中一貫した国際理解教育推進事業	48	教育課
	新	稲美町いじめ防止対策推進条例策定事業	49	教育課/人権教育課
	重	不登校児童生徒支援事業	50	人権教育課
	拡	デジタル教科書推進事業	51	教育課
	新	天満小学校長寿命化改修事業	52	教育課
	繰	小学校体育館照明設備等更新事業	53	教育課
	繰	中学校エレベーター設置事業	54	教育課
	拡	中学校部活動地域移行推進事業	55	教育課/生涯学習課/文化の森課
	重	人権教育啓発事業	56	人権教育課
	重	放課後児童クラブ管理運営事業	57	教育課
	70	町史編さん事業	58	生涯学習課
	新	文化会館舞台音響設備等改修事業	59	文化の森課
	新	子どもの読書活動推進計画策定事業	60	文化の森課
	70	トップアスリート招待事業	61	生涯学習課
	新	アーバンスポーツ施設整備事業	62	生涯学習課
	新	いなみ野体育センター空調設備設置事業	63	生涯学習課
	拡	学校給食費管理事業	64	教育課
水道事業会計	重	西部配水場更新事業	65	水道課
	新	稲美町水道事業経営戦略策定事業	66	水道課
下水道事業会計	新	稲美町下水道事業経営戦略策定事業	67	水道課
	重	下水道広域化推進総合事業	68	水道課

－	－	町制施行70周年記念事業　主要事業一覧	69	

区分　70：町制施行70周年記念事業　新：新規事業　拡：拡充事業　重：重点事業　繰：繰越事業

令和７年度　予算主要施策

事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業	区分	重点	担当課	企画課

科目						
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費	
事業	5　交通アクセス推進事業			事業費	21,405 千円	

事業目的

稲美町地域公共交通計画の基本理念「ともに支え 未来につなぐ いなみの公共交通」に基づき、既存の路線バスを補完する形でデマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」を運行し、高齢者をはじめとする地域住民の日常生活における町内交通手段の確保を図る。

事業内容

運行地域	町内全域(※)、加古川医療センター
運行日	月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始は運休）
運行時間帯	1便目　8：30～ 9：30 2便目　9：30～10：30 3便目　10：30～11：30 4便目　12：00～13：00 5便目　13：00～14：00 6便目　14：00～15：00 7便目　15：00～16：00
目的地施設	公共施設、バス停、学校園、金融機関、商業施設、医療施設、公園
利用対象者	利用者登録を行った住民
利用料金	町内400円、町外800円（65歳以上の人などは半額） ・運転免許証返納者(65歳以上の人など)に対する1年間無料利用特典あり ・キャッシュレス決済による利用料金の支払いが可能

※バス停から半径300m以内は一部利用制限あり

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	21,405	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		21,405	千円
計	21,405	千円	計		21,405	千円
前年度当初予算額	20,267	千円				
増減	1,138	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	ふるさと納税推進事業	区分	重点	担当課	企画課

科目					
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費
事業	8　ふるさと納税推進事業			事業費	134,684 千円

事業目的

ふるさと納税の返礼品を充実させるなど、町外に向けて情報発信を行い、ふるさと意識の醸成を図る。また、返礼品を提供する「ふるさと納税協力企業」を増やすことで、地域産業の振興につなげるとともに、自主財源の確保に寄与する。

事業内容

＜事業のながれ＞

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	84,247	千円	特定財源			千円
旅費	14	千円				千円
需用費	608	千円				千円
役務費	3,447	千円				千円
委託料	23,887	千円				千円
使用料及び賃借料	22,481	千円	一般財源		134,684	千円
計	134,684	千円	計		134,684	千円
前年度当初予算額	156,463	千円				
増減	△ 21,779	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	総合計画等策定事業	区分	新規	担当課	企画課

科目						
	款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費
	事業	11　総合計画等策定事業			事業費	7,289 千円

事業目的

令和3年度に策定した「第6次稲美町総合計画」の前期基本計画が令和8年度に終了することに伴い、引き続き基本理念である「ともにつくる　未来へつなぐ　稲美町」を実現するため、令和9年度から令和13年度を計画期間とする後期基本計画を、令和7年度と令和8年度の2か年で策定する。

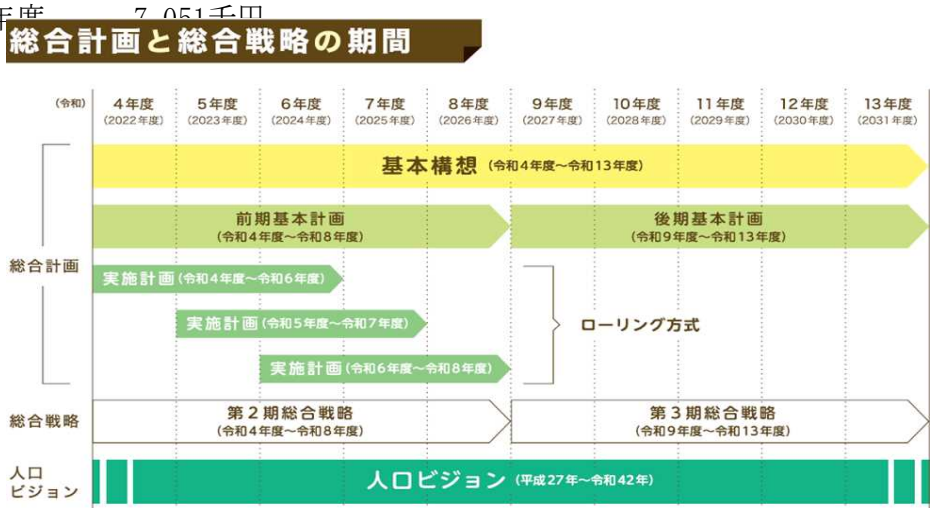
また、「稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略」との一体的な運用を行うため、総合戦略の第3期計画も合わせて策定する。

事業内容

令和4年度からの10年間が基本構想となっている第6次総合計画について、令和9年度からの5年間の後期基本計画及び第3期総合戦略を策定する。

(1) 令和7年度、令和8年度の2か年で後期基本計画及び第3期総合戦略を策定する。
(2) 年次計画
・令和7年度　総合計画審議会、策定委員会の設置、各課ヒアリング、アンケート調査の実施、結果の集計・分析等
・令和8年度　計画策定等

債務負担行為（委託料）
令和7年度　　7,131千円
令和8年度　　7,051千円



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	153	千円	特定財源			千円
需用費	5	千円				千円
委託料	7,131	千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		7,289	千円
計	7,289	千円	計		7,289	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	7,289	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町制施行70周年記念事業	区分	70	担当課	企画課

科目					
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費
事業	12 町制施行７０周年記念事業			事業費	10,084 千円

事業目的

昭和30（1955）年3月31日に稲美町が誕生してから70年を迎えることを祝い、稲美町を築きあげられた先人達に改めて感謝するとともに、今後とも住民一人ひとりがふるさとに愛着を持ち、「ともにつくる　未来へつなぐ　稲美町」を実現するため、町制施行70周年記念事業を実施する。

事業内容

【町制施行70周年記念式典】
・日時　令和7年11月1日（土）　午後1時30分～
・場所　コスモホール
・内容　（一部）記念式典　　功労者表彰及び感謝状の贈呈
　　（二部）アトラクション

【稲美町PR動画コンテスト】
町の魅力をPRするショート動画を一般公募し、町ホームページ・町公式YouTubeチャンネル、デジタルサイネージ等で放映する。

【町勢要覧作成事業】
町勢要覧(70周年記念誌)及び記念動画を制作する。
・債務負担行為
　令和6年度　　3,861千円
　令和7年度　　2,574千円

【町制施行70周年記念啓発事業】
各種啓発グッズを作製し、町制施行70周年を広く周知する。

【住民企画支援事業補助金】
住民協働のまちづくりを推進するため、住民団体等が自ら企画、実施する70周年をともにお祝いする事業に補助金を交付する。

その他の70周年記念事業は、69頁～参照

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	1,919	千円	特定財源			千円
需用費	2,096	千円				千円
役務費	855	千円				千円
委託料	2,980	千円				千円
使用料及び賃借料	234	千円				千円
負担金補助及び交付金	2,000	千円	一般財源		10,084	千円
計	10,084	千円	計		10,084	千円
前年度当初予算額	5,607	千円				
増減	4,477	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町制施行70周年記念ラジオ体操事業	区分	70	担当課	健康福祉課

科目	款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	1　社会福祉総務費
	事業	15 町制施行７０周年記念ラジオ体操事業			事業費	397 千円

事業目的

住民が一堂に会して運動することにより、楽しさや喜びを享受し、健康で豊かに暮らすことができるよう、町制施行70周年記念事業「2025年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施し、住民の健康増進及び介護予防・フレイル予防を図る。

事業内容

「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」

1953年から毎年実施しており、5月から10月までの間、全国の会場でNPO法人全国ラジオ体操連盟、日本放送協会（NHK）及び株式会社かんぽ生命保険の三者共同で主催しているイベントである。開催当日はNHKラジオ第1放送で生放送される。

【主催】　NPO法人全国ラジオ体操連盟、日本放送協会（NHK）、株式会社かんぽ生命保険

【共催】　稲美町

【日時】　令和7年7月21日～8月31日の間のうち1日
午前6時～午前6時40分まで
※荒天中止

【場所】　稲美中央公園

【参加方法】予約不要。当日先着での入場

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	270	千円	特定財源			千円
需用費	50	千円				千円
委託料	77	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		397	千円
計	397	千円	計		397	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	397	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	住民税非課税世帯に対する給付金給付事業	区分	繰越	担当課	地域福祉課

科目					
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	1　社会福祉総務費
事業	85　住民税非課税世帯に対する給付金給付事業に要する職員給与費（明） 86　住民税非課税世帯に対する給付金給付事業（明）			事業費	119,147 千円

事業目的

国の経済対策に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯の負担軽減を図るため、国の交付金を活用した給付金を給付する。

事業内容

●対象世帯

基準日（令和6年12月13日）時点において、稲美町の住民基本台帳に登録されている世帯のうち、世帯全員の令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯（世帯全員が、住民税が課税されている他の親族等の扶養を受けている世帯を除く）

●支給額

1世帯あたり3万円（18歳以下（平成18年4月2日以降生まれ）の児童がいる場合、児童1人あたり2万円を加算）

支給対象は3,500世帯、400人（こども加算）を想定

●手続き等

対象となる世帯へ順次、通知書の発送及び支給を行う。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	1,139	千円	特定財源	国庫支出金	119,147	千円
職員給与費	3,186	千円				千円
旅費	38	千円				千円
需用費	444	千円				千円
役務費	964	千円				千円
委託料	211	千円				千円
使用料及び賃借料	165	千円				千円
負担金補助及び交付金	113,000	千円	一般財源		0	千円
計	119,147	千円	計		119,147	千円
前年度当初予算額	－	千円				
増減	－	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	見守りカメラ維持管理事業	区分	拡充	担当課	危機管理課 健康福祉課

科目						
会計	1　一般会計					
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	2　防犯対策費	
事業	1　防犯活動事業			事業費	12,998 千円	
会計	4　介護保険特別会計					
款	3　地域支援事業費	項	3　包括支援事業・在宅福祉事業費	目	2　在宅福祉事業費	
事業	1　在宅福祉事業			事業費	347 千円	

事業目的

町内全域に設置した町が管理・運用する見守りカメラにより、通学時や外出時の住民の安全確保を図る。

また、見守りタグ（BLEタグ）を持った人がカメラの近くを通過すると利用者に通知が送られる見守りサービスの普及のため、希望する小学校1年生や認知症高齢者等の見守りサービスの利用料金等を町が負担し、利用促進を図る。

事業内容

●見守りサービス利用負担金等

小学校1年生及び認知症高齢者の見守りサービスの利用料金について町が負担する。

小学校1年生　　【予算額：2,054千円】

認知症高齢者等　【予算額：347千円】

●稲美町見守りカメラ維持管理費用

令和6年度に整備を行った見守りカメラ107台の維持管理を行う。【予算額：10,944千円】

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	1,188	千円	特定財源			千円
役務費	11	千円				千円
委託料	8,092	千円				千円
使用料及び賃借料	1,664	千円				千円
負担金補助及び交付金	2,390	千円				千円
		千円	一般財源		13,345	千円
計	13,345	千円	計		13,345	千円
前年度当初予算額	85,803	千円				
増減	△ 72,458	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	防犯灯・街灯維持管理事業	区分	拡充	担当課	危機管理課

科目						
	款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	2　防犯対策費
	事業	2　防犯灯・街灯維持管理事業			事業費	64,340 千円

事業目的

防犯灯・街灯を計画的に増設することにより、夜間における歩行者の安全確保と犯罪の防止を図る。

また、JA兵庫南の稲美有線放送の事業廃止に伴い、有線柱に共架されている防犯灯・街灯の移設工事を行う。

事業内容

【光熱水費】

・防犯灯約3,700灯の電気料金

【修繕費】

・機器交換　30か所

・スイッチ交換　100か所

・その他修繕（配線修理等）

【委託料】

・防犯灯・街灯新設等審査業務委託料

【防犯灯・街灯新設等工事】

・自治会要望分　50灯

・町の計画による増設分　90灯

140灯

・有線柱抜柱に伴う移設　173か所

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	8,900	千円	特定財源			千円
委託料	440	千円				千円
工事請負費	55,000	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		64,340	千円
計	64,340	千円	計		64,340	千円
前年度当初予算額	17,200	千円				
増減	47,140	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	障がい福祉計画等策定事業	区分	新規	担当課	地域福祉課

科目						
	款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	3　障害福祉費
	事業	5　地域生活支援事業			事業費	2,973 千円

事業目的	
	障害者総合支援法及び障害者基本法に基づき、障がい福祉の向上を図ることを目的とした第8期いなみ障がい福祉計画及び第4次稲美町障害者基本計画を策定し、関連する他の福祉計画等との整合性を図り、地域共生社会の実現に向けた施策を推進する。

事業内容	
	(1) 令和7年度、令和8年度の2か年で計画を策定する。 (2) 策定スケジュール（予定） ・令和7年度　アンケート調査、事業所等ヒアリング等 ・令和8年度　現状把握、事業量推計、計画素案作成、パブリックコメント等 債務負担行為 令和8年度　　3,364千円

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,973	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		2,973	千円
計	2,973	千円	計		2,973	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	2,973	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	障がい者緊急短期入所支援事業	区分	新規	担当課	地域福祉課

科目					
款	３民生費	項	１社会福祉費	目	３障害福祉費
事業	５地域生活支援事業			事業費	996 千円

事業目的

障がい者の介護を行う保護者等の疾病その他の理由により当該障がい者が一時的に保護を必要とする場合に、緊急に短期入所を利用するための空床を確保することにより、障がい者及びその保護者等の福祉の向上を図る。

事業内容

◆町内の短期入所施設に常時の空床を確保し、保護者等の緊急時に利用できる体制を構築する。

〈協力施設〉

施設名	所在地	運営主体	確保数
つくしの家パル	加古3685-4	特定非営利活動法人 稲美町つくしとすぎなの会	１床

○利用できる人

・町内に居住する在宅の知的障がい者(18歳以上)

・短期入所のサービスを利用できる者

・利用に係る事前登録書を提出し、一連の事前登録手続きを完了している者

○利用の要件

・保護者等が急な病気や事故等により、他に介護する人がいない場合

・葬祭等緊急のやむを得ない保護者等の事情があり、他に介護する人がいない場合

等

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
扶助費	996	千円	特定財源	国庫支出金	498	千円
		千円		県支出金	249	千円
		千円				千円
		千円	一般財源		249	千円
計	996	千円	計		996	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	996	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	高齢者優待利用券交付事業	区分	重点	担当課	健康福祉課

科目					
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	4　高齢者福祉費
事業	6　高齢者優待利用券交付事業			事業費	44,669 千円

事業目的

65歳以上の高齢者に対し、タクシー及びバス料金の一部を助成することにより、高齢者の交通手段の確保と負担の軽減を図るとともに、生活行動範囲及び社会参加の拡大を支援する。

事業内容

【　対 象 者　】　稲美町の住民基本台帳に登録があり、居宅において外出時にタクシー・バスの利用を必要とする人のうち、次のいずれかに該当する人

①　65歳以上75歳未満で、住民税非課税世帯の人

②　75歳以上の人

【　申請期間　】　4月～翌3月

【　助 成 額　】　タクシー券　500円×月6枚×12か月＝年間36,000円

（1回の乗車料金が1,000円未満は1枚、1,000円以上1,500円未満は2枚、1,500円以上は3枚まで使用可能）

バス券　1,320円×12か月＝年間15,840円

（100円券×8枚＋50円券×8枚＋10円券×12枚＝1,320円）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	191	千円	特定財源			千円
旅費	7	千円				千円
需用費	1,065	千円				千円
役務費	1,645	千円				千円
扶助費	41,761	千円				千円
		千円	一般財源		44,669	千円
計	44,669	千円	計		44,669	千円
前年度当初予算額	46,328	千円				
増減	△ 1,659	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	加古福祉会館空調設備改修（実施設計）事業	区分	新規	担当課	健康福祉課

科目					
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	9　社会福祉施設費
事業	4　加古福祉会館管理運営事業			事業費	2,317 千円

事業目的

災害時の福祉避難所に指定されている加古福祉会館の空調設備は、竣工から28年（多目的ホールは22年）が経過し、老朽化が進んでいることから、改修のための実施設計を行う。

事業内容

実施設計にあたっては、日照・日射条件や光熱水費等を勘案し、高効率な設備へ更新できるよう検討する。

1.加古福祉会館（平成9（1997）年）概要

・構造・延床面積

本館：鉄骨造平屋建　495.13㎡

多目的ホール：鉄骨造一部RC造平屋建　455.07㎡

2.現空調設備概要

・タイプ：EHPマルチエアコン

・室外機：6台

・室内機：13台

天井カセット型6台

天井埋込ダクト型3台

床置型4台

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,317	千円	特定財源	町債	1,700	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		617	千円
計	2,317	千円	計		2,317	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	2,317	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	出産お祝い金支給事業	区分	重点	担当課	こども課

科目					
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	1　児童福祉総務費
事業	12　出産お祝い金支給事業			事業費	9,521 千円

事業目的

乳児が生まれた世帯にお祝い金を支給することにより、その出生を祝福するとともにこどもを生み育てやすい環境づくりを推進する。また、子育て世帯への経済的支援を行うことで、児童福祉の向上及び少子化対策の推進を図る。

事業内容

乳児の出産があった世帯に5万円分の稲美町共通商品券を支給する。

支給対象者　　乳児の父または母

お祝い金の額　　乳児1人につき5万円

支給方法　　稲美町共通商品券を窓口で手渡し

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	21	千円	特定財源			千円
負担金補助及び交付金	9,500	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		9,521	千円
計	9,521	千円	計		9,521	千円
前年度当初予算額	9,500	千円				
増減	21	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	こどもの居場所づくり支援事業	区分	拡充	担当課	こども課

科目					
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	1　児童福祉総務費
事業	14　こどもの居場所づくり支援事業			事業費	3,072 千円

事業目的

地域でこども達の育ちを推進するため、食事提供や団らん等を通して、こども達が安全で安心して過ごすことができる「こどもの居場所づくり」を推進する。

事業内容

【補助対象団体】
こどもが安全で安心して過ごせる居場所をつくることを目的として、こども又はその保護者を支援する活動を1年以上行っている団体

【補助対象事業】
○こどもの居場所づくり機運醸成事業
こどもの居場所づくりに関する周知や理解を深める講演会やイベントの実施
○こども食堂事業
こどもの居場所づくりの一つとして、こどもに対して町内において食事の提供を主とした支援を実施する場を提供する事業。概ね月1回以上開催し、概ね10人以上に提供する。
○こどもの居場所事業
こどもが自己肯定感や自己有用感を高め、こどもが本来持っている主体性や想像力を十分に発揮して社会で活躍していけることを目的とした、こどもの居場所を提供する事業
概ね月1回以上開催し、1回あたり2時間以上実施する。

【補助金額等】
○こどもの居場所づくり機運醸成事業
現行：実施に必要な経費に対して20万円以上で、上限20万円
拡充：実施に必要な経費に対して10万円以上で、上限20万円
○こども食堂事業
1回の開催に必要な経費に対して上限3千円
○こどもの居場所づくり
年間の運営費用75万円または、1万5千円×開催回数のいずれか少ない額を上限

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
旅費	6	千円	特定財源	国庫支出金	1,644	千円
負担金補助及び交付金	3,066	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		1,428	千円
計	3,072	千円	計		3,072	千円
前年度当初予算額	3,072	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町制施行70周年記念親子コンサート事業	区分	70	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	4　子育て交流施設費	
事業	2　子育て交流施設運営事業			事業費	2,686 千円	

事業目的	町制施行70周年を記念して親子で楽しめる「ケロポンズファミリーコンサート」を開催する。就学前の親子などが一緒に歌って踊ってふれあうことで、保護者のこどもに対する愛着形成につなげるとともに、歌と踊りにより、こどものリズム感覚、運動機能の向上を図る。
事業内容	【イベント名称】ケロポンズファミリーコンサート 【実施場所】　コスモホール 【実施時期】　令和8年1月18日（日）午前・午後の2回公演（予定） 【入 場 料】　無料（町内在住者優先） ※ケロポンズ…1999年結成、増田裕子（ケロ）と平田明子（ポン）からなるミュージック・ユニット。こども向けの音楽や振付の制作を手がけ、親子コンサートなどに年間100公演以上出演。代表作「エビカニクス」は、保育園、幼稚園で人気の定番体操曲で、YouTube動画再生回数は、1億6千万回を突破（2024年12月時点）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	108	千円	特定財源			千円
委託料	2,065	千円				千円
使用料及び賃借料	513	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		2,686	千円
計	2,686	千円	計		2,686	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	2,686	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	いなみっこ広場一時預かり保育事業	区分	拡充	担当課	こども課

科目					
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	4　子育て交流施設費
事業	2　子育て交流施設運営事業			事業費	3,645 千円

事業目的

育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するため、いなみっこ広場において一時預かり保育を実施し、子育て中の保護者のリフレッシュと育児負担の軽減を図る。

事業内容

一時預かりの実施日に金曜日を加える。

【対象児童】　稲美町に住民登録がある満1歳から小学校就学前の児童

【実施施設】　いなみっこ広場

【実施日】　現行：毎週火曜日、水曜日、木曜日（祝日、年末年始は除く）
拡充：毎週火曜日、水曜日、木曜日、金曜日（祝日、年末年始は除く）

【預かり時間】　9：00～12：00

【利用料金】　1日あたり1,000円/人（3時間まで）

【利用定員】　1日あたり6人以内

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	3,525	千円	特定財源	国庫補助金	868	千円
旅費	120	千円		県補助金	868	千円
		千円		雑入	1,040	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		869	千円
計	3,645	千円	計		3,645	千円
前年度当初予算額	1,639	千円				
増減	2,006	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	妊婦等包括支援事業	区分	拡充	担当課	こども課

科目					
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	1　保健衛生総務費
事業	1　保健衛生事業に要する職員給与費 8　妊婦等包括支援事業			事業費	26,238 千円

事業目的

すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から妊産婦等に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うとともに、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実させる。また、妊婦支援給付金を支給し、妊婦等の身体的、精神的ケアに加え経済的支援を一体的に実施する。

事業内容

【実施内容】

①伴走型相談支援

稲美町内の全ての妊婦・その配偶者等に対して保健師・助産師が、面談等を行い、必要な情報提供や相談に応じるともに、ニーズに応じて必要な支援につなげる。

②経済的支援

妊婦支援給付金を支給する。

	妊婦支援給付金（新）	出産・子育て応援ギフト（旧）
対象者	1回目：妊婦 2回目：妊婦	1回目：妊婦 2回目：養育者
金額	1回目：5万円 2回目：5万円×胎児の数	1回目：5万円 2回目：5万円×出生した人数
支給時期	1回目：妊婦支援給付認定後（妊娠届出後） 2回目：胎児の数の届出後（出産予定日の8週間前の日以降）	1回目：妊娠届出後 2回目：出産後
妊娠届出後の流産・死産等の場合	給付対象	流産等の場合は給付対象外

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	496	千円	特定財源	国庫支出金	22,021	千円
職員給与費	2,653	千円		県支出金	1,926	千円
旅費	16	千円				千円
需用費	30	千円				千円
役務費	95	千円				千円
委託料	2,552	千円				千円
使用料及び賃借料	396	千円				
負担金補助及び交付金	20,000	千円	一般財源		2,291	千円
計	26,238	千円	計		26,238	千円
前年度当初予算額	26,088	千円				
増減	150	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	産後ケア事業	区分	拡充	担当課	こども課

科目					
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	1　保健衛生総務費
事業	9　産後ケア事業			事業費	2,405 千円

事業目的

産後ケア事業を実施する助産所・医療機関（以下実施機関という。）での宿泊・通所や訪問により、産後の身体的・精神的支援や沐浴・授乳等の育児支援を行い、育児不安の解消を図ることで母子の愛着形成の促進、産後うつや虐待予防を図る。

事業内容

令和7年度から兵庫県と兵庫県医師会及び兵庫県助産師会が代表して集合契約を締結する。県内どの地域でも産後ケアを受けられるよう、稲美町もこの集合契約に参加する。

現行　　：町と契約している実施機関のみ利用可能

令和7年度：集合契約に参加している実施機関で利用可能。通所型、訪問型の利用を時間単位に変更

① 対象者　　現行：産後の育児不安が強い産婦または産後の支援が得られない産後1年を経過しない母子

拡充：産後1年以内の産婦及び乳児であって産後ケアを必要とする者
流産・死産を経験して1年以内の者であって産後ケアを必要とする者

② 利用内容
- 宿泊型　対象者が施設へ宿泊し、産後ケアを利用する
- 通所型　対象者が日帰りで施設利用し、産後ケアを利用する
- 訪問型　受託者が対象者の家庭へ訪問し、対象者が産後ケアを利用する

③ 利用可能日数　それぞれ7日以内　・通所型は1日につき上限8時間
・訪問型は1日につき上限3時間

④ 利用者負担額

令和7年度

【一般世帯】	【非課税世帯】	【生活保護世帯】
宿泊型　3,000円/日	宿泊型　1,500円/日	宿泊型　1,000円/日
通所型　250円/時間	通所型　120円/時間	通所型　70円/時間
訪問型　500円/時間	訪問型　150円/時間	訪問型　0円/時間

現行

【一般世帯】	【非課税世帯】	【生活保護世帯】
宿泊型　3,000円/日	宿泊型　1,500円/日	宿泊型　1,000円/日
通所型　2,000円/8時間	通所型　1,000円/8時間	通所型　500円/8時間
1,600円/6時間	800円/6時間	400円/6時間
1,000円/半日	500円/半日	0円/半日
訪問型　1,000円/日	訪問型　500円/日	訪問型　0円/日

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
旅費	6	千円	特定財源	国庫支出金	1,202	千円
需用費	10	千円		県支出金	601	千円
委託料	2,389	千円				千円
		千円	一般財源		602	千円
計	2,405	千円	計		2,405	千円
前年度当初予算額	1,054	千円				
増減	1,351	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	子どもの任意予防接種助成事業	区分	拡充	担当課	こども課

科目						
	款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	2　予防費
	事業	4　予防接種事業			事業費	1,029 千円

事業目的

任意予防接種に係る接種費用の一部を助成することにより、疾病のまん延防止を図るとともに、子育て家庭への経済的負担の軽減を図る。

令和7年度から男子へのHPVワクチンに係る接種費用の一部を助成する。

① 種類　4価ワクチン（ガーダシル）

② 対象者　稲美町に住民登録がある小学校6年生から高校1年生相当年齢の男子

③ 助成額　上限17,000円/回

④ 助成回数　一人3回まで

⑤ 効果　中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えられているHPVへの感染予防が期待できる。加えて、男性がワクチン接種により感染予防をすることで、女性をHPV感染から守り、子宮頸がんの予防にもつなげる。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	6	千円	特定財源			千円
委託料	1,023	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		1,029	千円
計	1,029	千円	計		1,029	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	1,029	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会事業	区分	70	担当課	生活環境課

科目					
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	4　環境衛生費
事業	3　カーボンニュートラル推進事業			事業費	745 千円

事業目的

町制施行70周年の節目に、世界共通の課題である地球温暖化に関する講演会を開催することにより、2050年二酸化炭素の実質排出量ゼロを目標にカーボンニュートラルの推進及び脱炭素社会の実現を図る。

事業内容

知名度があり知識が豊富な気象予報士が地球温暖化防止に関係する内容で最近の異常気象を中心とした講演を行うことで、一人でも多くの住民が脱炭素化や省エネについて学び、日常生活において環境問題についての関心を高めるとともに行動変容を促していく。

【イベント名称】町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会
【実施場所】　コスモホール
【開催時期】　令和7年9月6日（土）
【講　師】　気象予報士　正木　明氏（予定）
【講演テーマ】　「迫りくる気候危機！私たちがやるべきこと」（予定）

正木明氏プロフィール
気象キャスターとしてテレビでの天気予報を中心に、近年、温暖化の影響で被害が大きくなってきている自然災害に対しては、防災士の知識も活かしながら命を守る情報も発信している。
《生年月日》1961年5月5日
《出身地》兵庫県生まれ、神奈川県育ち（現在は兵庫県在住）
《出演番組》
テレビ：『おはよう朝日です』朝日放送（1990年～）
ラジオ：『正木明の地球にいいこと』ラジオ関西（2019年～）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	386	千円	特定財源			千円
需用費	99	千円				千円
役務費	99	千円				千円
委託料	76	千円				千円
使用料及び賃借料	85	千円				千円
		千円	一般財源		745	千円
計	745	千円	計		745	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	745	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	電気自動車等普及促進事業	区分	拡充	担当課	生活環境課

科目						
	款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	4　環境衛生費
	事業	3　カーボンニュートラル推進事業			事業費	1,750 千円

事業目的

電気自動車（EV車）及びプラグインハイブリッド自動車（PHEV車）の購入費用の一部を補助することにより、カーボンニュートラルの推進及び脱炭素社会の実現を図る。

事業内容

令和7年度から県の次世代自動車導入支援制度を活用し、事業者に対しても補助金を交付する。

【町補助金概要】

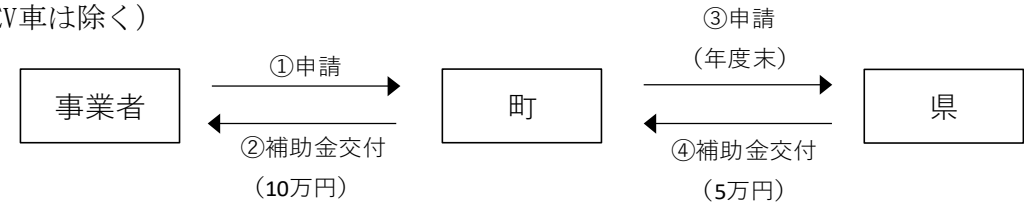
・補助内容　電気自動車（EV車）またはプラグインハイブリッド車（PHEV車）を購入した者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

・補助金額
- ・EV車（普通車）　100,000円/台
- ・EV車（軽自動車）　50,000円/台
- ・PHEV車　50,000円/台

・補助対象
- ・町内に住所を有する個人
- ・町内に事務所または事業所を有する法人または個人事業主

【県補助金概要】

法人や個人事業主に補助する市町に対し、補助額の1/2を市町へ補助する（協調補助）（PHEV車は除く）



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	1,750	千円	特定財源	県支出金	275	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		1,475	千円
計	1,750	千円	計		1,750	千円
前年度当初予算額	2,000	千円				
増減	△ 250	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	水道事業会計支出事業	区分	新規	担当課	水道課

科目					
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	5　上水道費
事業	1　水道事業会計支出事業			事業費	74,000 千円

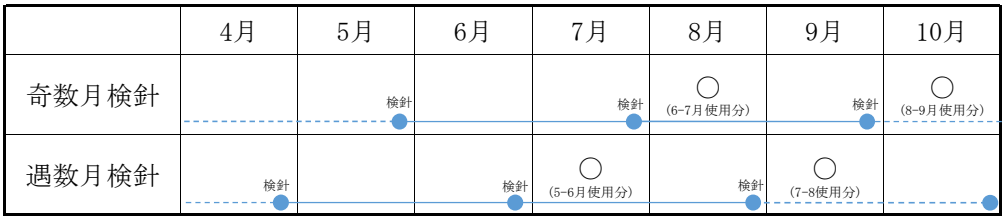
事業目的

エネルギーや食料品価格等の影響を受けている生活者や事業者に対し、必要な支援をきめ細やかに実施できるよう追加された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道料金の基本料金（4か月分）の免除を行う。

事業内容

令和7年4月からの新料金体系適用後の基本料金（4か月分）の免除を行う。

実施時期　7月請求分（5-6月検針）から



※ ○　・・・　基本料金免除対象 料金請求月

●―●　・・・　免除対象水道使用期間

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	74,000	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		74,000	千円
計	74,000	千円	計		74,000	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	74,000	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	広域ごみ処理事業	区分	重点	担当課	生活環境課

科目					
款	4　衛生費	項	2　清掃費	目	1　塵芥処理費
事業	10　広域ごみ処理事業			事業費	18,804 千円

事業目的

東播臨海広域クリーンセンター「エコクリーンピアはりま」において、資源の有効利用や再生可能エネルギーの活用等、環境負荷の低減を図るとともに、環境学習の提供など2市2町（高砂市、加古川市、稲美町、播磨町）が連携した広域ごみ処理事業を推進する。

加えて、エコクリーンピアはりまの可燃ごみ処理施設のごみ焼却時の熱回収によって発電した電力を有効活用するための事業を実施することにより、地域の脱炭素化をめざす。

事業内容

【広域ごみ処理事業負担金】

・可燃ごみ処理施設処理費

施設規模：429トン/日（143トン/炉×3炉）24時間運転

令和7年度2市2町の予測排出量：99,539トン（うち稲美町7,899トン、約7.9%）

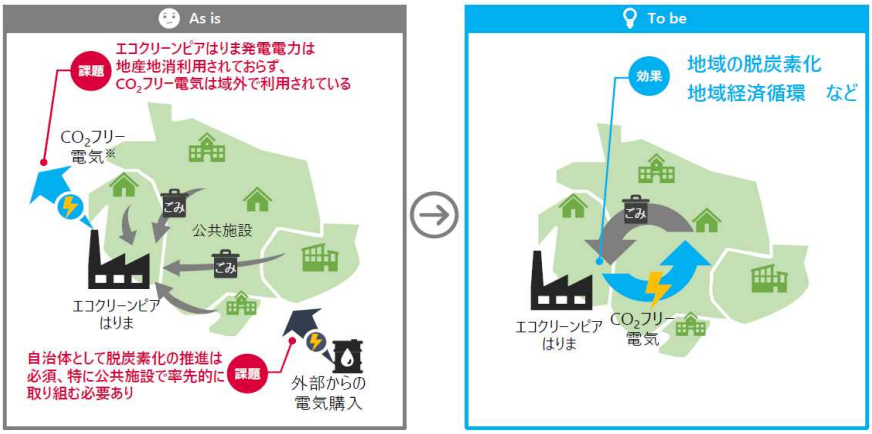
・不燃粗大ごみ処理施設処理費

施設規模：34トン/5時間（最大）

令和7年度2市2町の予測排出量：6,274トン（うち稲美町605トン、約9.6%）

【エコクリーンピアはりま電力地産地消事業】

エコクリーンピアはりまの可燃ごみ処理施設で発電されるCO2フリーの電力を2市2町の公共施設において有効活用するため、「地域新電力会社」の立ち上げに取り組む。



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
役務費	79	千円	特定財源			千円
負担金補助及び交付金	18,725	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		18,804	千円
計	18,804	千円	計		18,804	千円
前年度当初予算額	18,776	千円				
増減	28	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	有機農業推進事業	区分	新規	担当課	産業課

科目					
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	3　農業振興費
事業	8　有機農業推進事業			事業費	9,382 千円

事業目的

オーガニックビレッジ宣言に向けて、農業者のみならず事業者や消費者を含めた体制づくりを行い、生産から消費までの一貫した流通や販路拡大、消費者の理解醸成を図ることにより、稲美町及び稲美町産農産物のＰＲにつなげる。

事業内容

【スケジュール】
令和7年度　5か年計画　策定　（国庫補助金：上限1,000万円）
令和8年度　計画実施　（国庫補助金：上限800万円）
令和9年度　計画実施　（国庫補助金：上限600万円）
令和10年度　計画実施
令和11年度　計画実施　最終年度

令和7年度は、オーガニックビレッジ宣言に向けて、協議会の立上げを行い、稲美町有機農業実施計画（案）の策定を行う。
計画策定に伴い、水稲を含めた各種研究ほ場設置や学校給食の無化学肥料・無農薬米の導入による差額補填を行い、5年後までに学校給食の全量無化学肥料・無農薬米化をめざすとともに、生産段階、流通・加工消費段階等で各種の有機農業推進の取組みを進める。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,612	千円	特定財源	県支出金	9,382	千円
負担金補助及び交付金	6,770	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		0	千円
計	9,382	千円	計		9,382	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	9,382	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	多面的機能支払事業	区分	重点	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	6　多面的機能支払事業			事業費	124,707 千円	

事業目的

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動等に対して交付金を支払うことにより農地、農業用施設の保全を図る。

事業内容

（事業内容）

・農地維持支払：草刈等の共同活動

・資源向上支払：施設の補修・更新、環境保全活動

（協議会数）

・農地維持支払・資源向上支払（共同活動）　28協議会

・資源向上支払（長寿命化）　24協議会

（費用負担）

・国50％　県25％　町25％

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	1,020	千円	特定財源	県支出金	93,516	千円
旅費	47	千円				千円
需用費	15	千円				千円
使用料及び賃借料	172	千円				千円
負担金補助及び交付金	123,453	千円				千円
		千円	一般財源		31,191	千円
計	124,707	千円	計		124,707	千円
前年度当初予算額	124,838	千円				
増減	△ 131	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	基幹水利施設整備事業	区分	重点	担当課	産業課

科目						
	款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費
	事業	7　基幹水利施設整備事業			事業費	14,726 千円

事業目的

天満大池土地改良区内の農業用用排水施設（揚水機場）と草谷川地区のパイプラインの更新を行い、農地への安定的な用水の供給を行うとともに、継続的な営農を推進する。

事業内容

○天満大池土地改良区

（工事内容）

・天満大池揚水機場更新工事　一式

（費用負担）

・国50%　県29%　町14%　地元7%

（予算額）

50,000,000円×21%＝10,500,000円

○草谷川土地改良区

（工事内容）

・パイプライン更新工事　一式

（費用負担）

・国50%　県31%　町13%　地元6%

（予算額）

22,240,000円×19%＝4,225,600円

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	14,726	千円	特定財源	分担金及び負担金	4,834	千円
		千円		町債	8,900	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		992	千円
計	14,726	千円	計		14,726	千円
前年度当初予算額	21,720	千円				
増減	△ 6,994	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	水利施設等保全高度化事業	区分	重点	担当課	産業課

科目					
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費
事業	8　水利施設等保全高度化事業			事業費	23,000 千円

事業目的

水管理の省力化や維持管理費の低減、農地集積等、農業経営の効率化と継続を図るため、農業基盤の再整備に向けた事業計画を策定する。

事業内容

（事業内容）

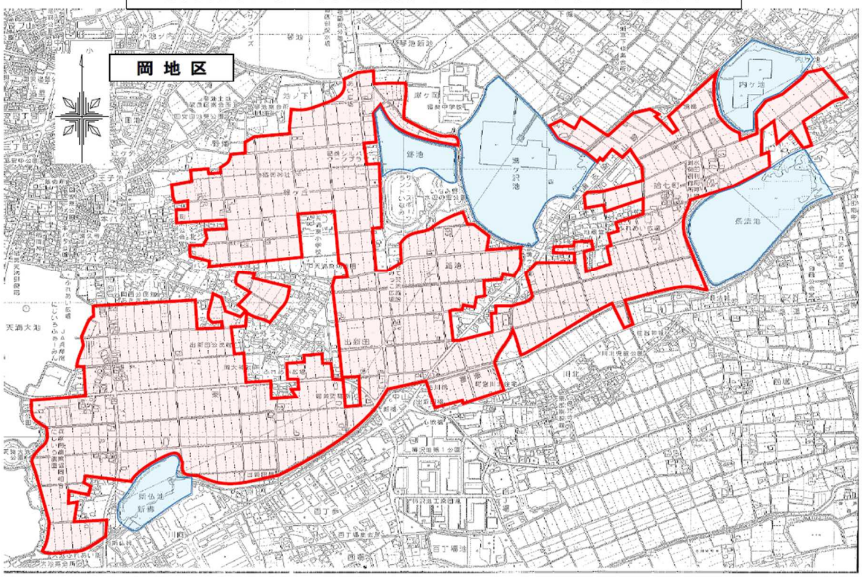
・岡地区再整備計画策定　約137ha

区画拡大、用排水路の暗渠化、ほ場の暗渠排水等

（費用負担）

・国100％

農業競争力強化農地整備事業（岡地区）位置図　稲美町



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	23,000	千円	特定財源	県支出金	23,000	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		0	千円
計	23,000	千円	計		23,000	千円
前年度当初予算額	30,000	千円				
増減	△ 7,000	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	農村地域防災減災事業	区分	新規	担当課	産業課

科目					
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費
事業	9　農村地域防災減災事業			事業費	10,000 千円

事業目的

下流住民の生活や公共施設等の安全・安心を確保するため、耐震性能調査の結果、耐震性を有していないため池のうち、早急な耐震化整備が必要と判断されたものから耐震化対策整備を行うための計画を策定し、地域の安全を確保する。

事業内容

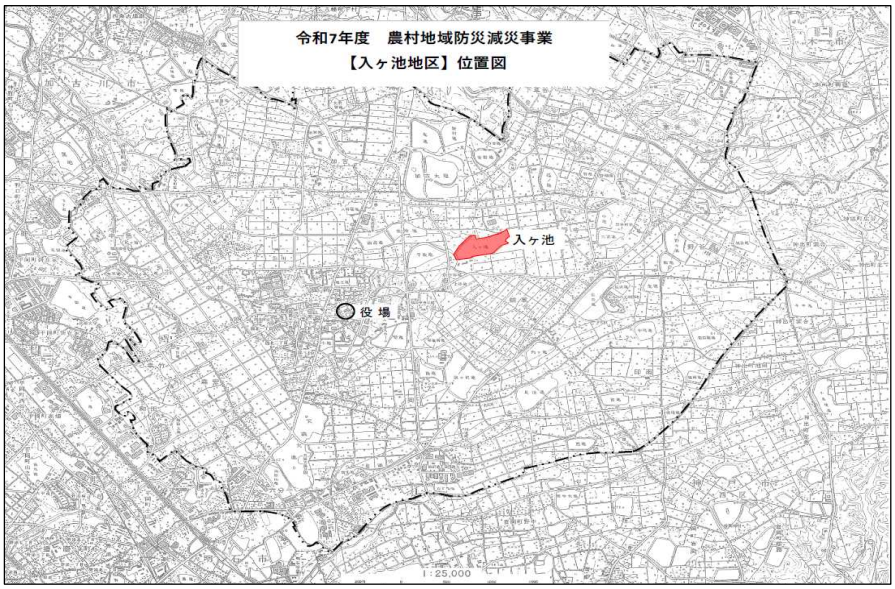
（事業内容）

・入ヶ池耐震化整備計画策定　一式

令和6年度予算繰越25,000千円と合わせて35,000千円

（費用負担）

・国100%



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	10,000	千円	特定財源	県支出金	10,000	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		0	千円
計	10,000	千円	計		10,000	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	10,000	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	区分	新規	担当課	産業課

科目					
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費
事業	10　農業水路等長寿命化・防災減災事業			事業費	10,000 千円

事業目的

町道六分一西和田線を横断する排水路は、県営ほ場整備事業稲美南西部地区において昭和50（1975）、51（1976）年にかけて造成され、コルゲート鋼製管が使用されている。

供用開始から48年が経過しており、老朽化が著しいため、機能保全計画を策定し、総合的な予防保全対策を講じる。

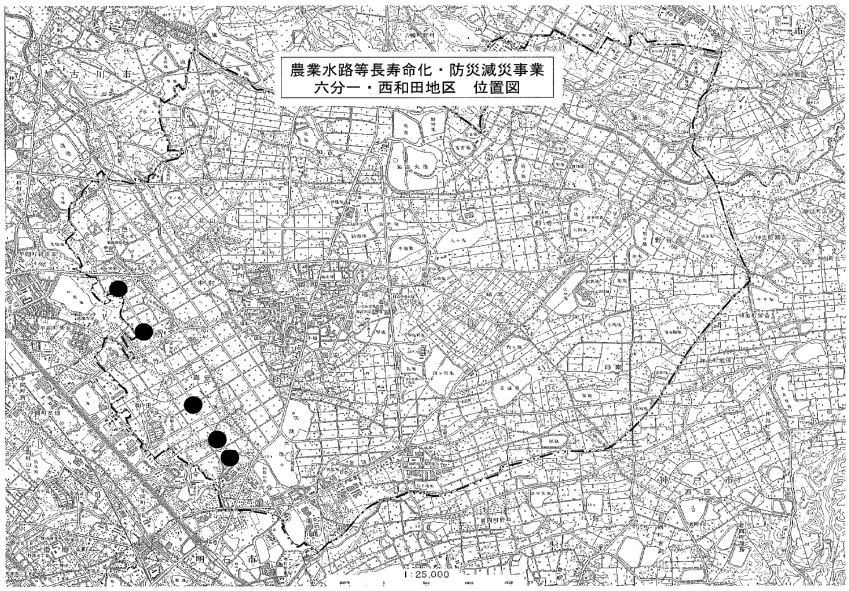
事業内容

（事業内容）

・機能診断・保全計画（計画延長67m、管径600㎜～2,000㎜）の策定　一式

（費用負担）

・国100%



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	10,000	千円	特定財源	県支出金	10,000	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		0	千円
計	10,000	千円	計		10,000	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	10,000	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	商工業振興補助事業	区分	重点	担当課	産業課

科目					
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費
事業	3　商工業振興事業			事業費	19,997 千円

事業目的	稲美町商工会に補助を行うことにより、町内の商工業の振興対策を図る。
事業内容	（主な事業内容） ・経営改善普及事業指導職員設置費 ・経営改善普及事業指導事業費 ・総合振興事業費 　労働者雇用管理改善事業 　観光と物産事業 　いなみ冬景色事業 　健康維持推進事業 　共通商品券事業 　年賀交歓会受託事業 　婚活事業 　エキスパートバンク事業 　創業支援事業

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	19,997	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		19,997	千円
計	19,997	千円	計		19,997	千円
前年度当初予算額	17,350	千円				
増減	2,647	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町制施行70周年記念花火大会実施事業	区分	70	担当課	産業課

科目						
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費	
事業	4　観光振興事業			事業費	12,000 千円	

事業目的	町制施行70周年を記念して花火大会を実施し、夜空を華麗に彩る花火を打ち上げることで、活力あるまちづくりをめざす。
事業内容	稲美町花火大会実行委員会（仮称）に委託し、記念式典の夜に500発/1か所の花火を合計3か所より打ち上げる。 （形態） 分散型（町内3か所） ※来場不可 （日時） 令和7年11月1日（雨天順延11月2日） （主催） 稲美町花火大会実行委員会（仮称）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	12,000	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		12,000	千円
計	12,000	千円	計		12,000	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	12,000	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	にぎわい創出補助事業	区分	重点	担当課	産業課

科目					
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費
事業	4　観光振興事業			事業費	3,000 千円

事業目的	イベント等を主催する団体に補助金を交付することで、地域の活性化や町のにぎわいを創出するイベント等の開催を促すとともに、地域資源を活用した安全・安心なイベントの定着を図る。
事業内容	安全・安心なイベントの定着を図ることを目的に、イベント等を主催する団体に補助金を交付する。 ・補助内容 対　象：事業費20万円以上の営利目的でないイベント 補助額：上限20万円（1団体2回まで）補助率10/10 その他：申請は1団体2回まで 2事業同時に交付申請はできない（予算の範囲内）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	3,000	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		3,000	千円
計	3,000	千円	計		3,000	千円
前年度当初予算額	3,000	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	稲美町プレミアム付商品券事業	区分	70	担当課	産業課

科目					
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費
事業	5　稲美町商品券事業			事業費	165,000 千円

事業目的

稲美町プレミアム付商品券を販売することで、購買力の町外流出防止及び個人消費を促進し、町内の商業の活性化を図る。

事業内容

物価高騰対策として、令和6年度に引き続き販売セット数を拡大する。令和7年度は町制施行70周年を記念してデザインの変更を行う。

（事業内容）
・プレミアム付商品券
　発行枚数：15,000セット
（1セット10,000円[500円券22枚]）
　プレミアム率：10％
　販売期間：令和7年7月
　有効期限：令和7年12月31日

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	165,000	千円	特定財源	財産収入	150,000	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		15,000	千円
計	165,000	千円	計		165,000	千円
前年度当初予算額	165,000	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町道維持補修事業	区分	重点	担当課	土木課

科目						
	款	8　土木費	項	2　道路橋梁費	目	2　道路維持費
	事業	2　町道維持補修事業			事業費	122,584 千円

事業目的

安全で快適な通行の確保及び騒音軽減等による住環境の改善のため、舗装の亀裂、ひび割れ、沈下が著しいなど、車両交通に支障をきたしている町道について計画的に舗装打換工事等を行う。

事業内容

令和7年度舗装打換工事予定路線

①町道川北口南場線　　施工延長　335m　　幅員　6.0m

②町道至子（たかぼり）線　　施工延長　600m　　幅員　6.0m

③町道597号線　　施工延長　500m　　幅員　4.7～7.5m

※図面は次頁に掲載

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
工事請負費	122,584	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		122,584	千円
計	122,584	千円	計		122,584	千円
前年度当初予算額	82,676	千円				
増減	39,908	千円				

①町道川北口南場線　　施工延長　335m　　幅員　6.0m

②町道至子線　　施工延長　600m　　幅員　6.0m

③町道597号線　　施工延長　500m　　幅員　4.7～7.5m

令和７年度　予算主要施策

事業名	町道草谷学校線歩道整備事業	区分	重点	担当課	土木課

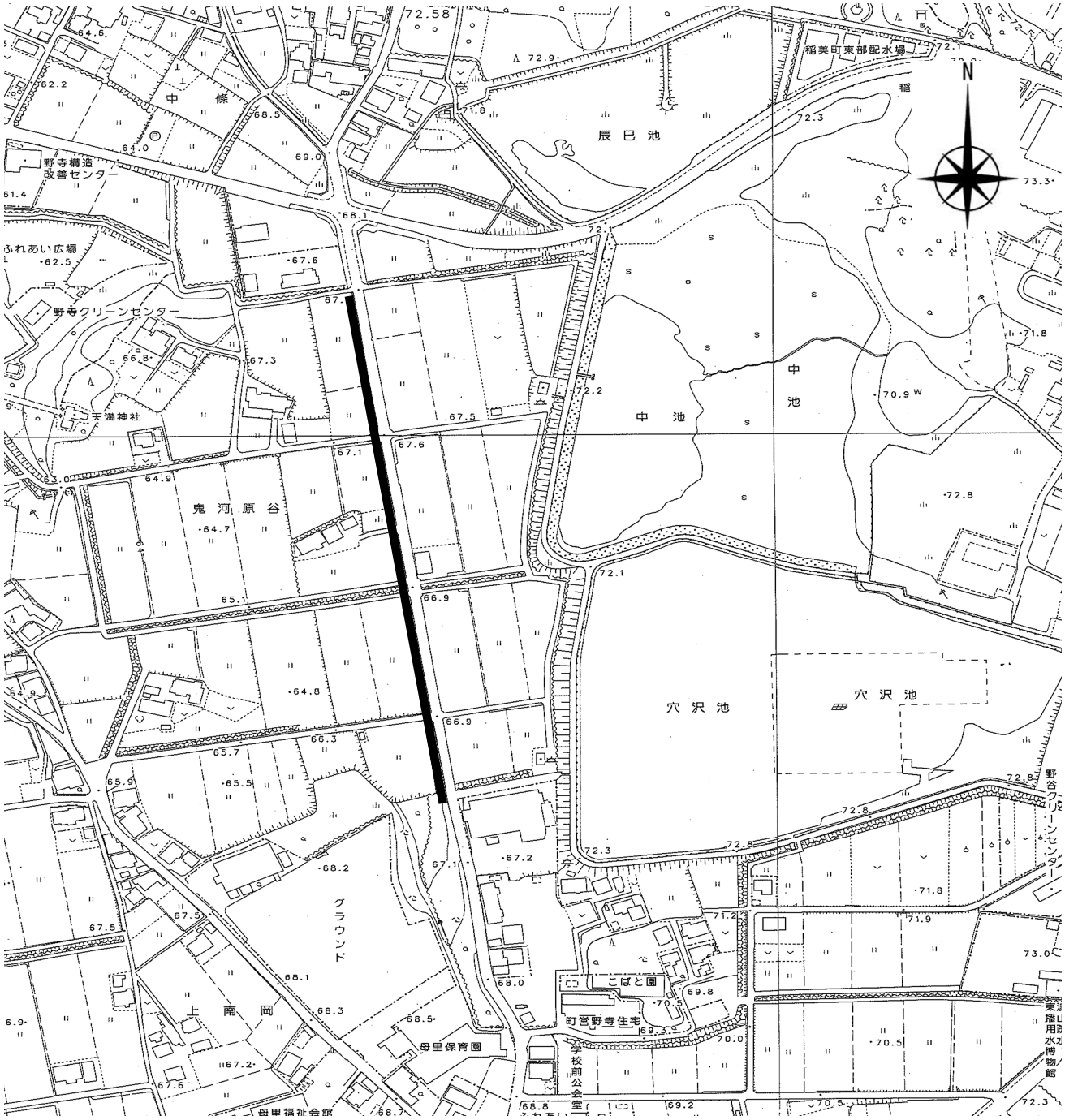
科目					
款	8　土木費	項	2　道路橋梁費	目	3　道路新設改良費
事業	2　町道草谷学校線歩道整備事業			事業費	32,773 千円

事業目的	母里小学校区の通学路である町道草谷学校線は、交通量が多く、一部区間において路肩部分も狭いため、歩道整備を行い、児童をはじめとする歩行者の安全を確保する。
事業内容	町道草谷学校線歩道整備工事　　施工延長　390m　　幅員　2.0m ※図面は次頁に掲載

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
工事請負費	32,773	千円	特定財源	国庫支出金	12,650	千円
		千円		町債	9,300	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		10,823	千円
計	32,773	千円	計		32,773	千円
前年度当初予算額	47,314	千円				
増減	△ 14,541	千円				

町道草谷学校線歩道整備工事　　施工延長　390m　　幅員　2.0m



令和７年度　予算主要施策

事業名	親元近居住宅取得等支援補助事業	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	2　都市計画行政運営事業			事業費	12,600 千円

事業目的

町内の定住人口の増加を図るとともに、親子間の子育て支援や介護などの支え合いを促進するため、町内出身者などの子世帯が親元に住宅を新築等する場合に補助を行う。

事業内容

（補助金名称）　稲美町移住定住支援補助金（親元近居住宅取得等支援補助金）

（補助金額）　18万円分の稲美町共通商品券

（対象住宅）
- 取得した住宅（中古住宅を含む。）は子世帯の所有権が2分の1以上あること。
- 玄関・居室・台所・風呂・トイレのうち2つ以上を含む増築・一部改築工事またはリフォーム工事を実施した住宅でその工事費が300万円以上のもの

（対 象 者）
（親世帯）申請者の親等（直系尊属）が町内に5年以上居住している場合
（子世帯）子世帯全員が稲美町に居住している場合（住民票が町内にあること）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	12,600	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		12,600	千円
計	12,600	千円	計		12,600	千円
前年度当初予算額	12,600	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	沿道活性化にぎわいづくり補助事業	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	2　都市計画行政運営事業			事業費	7,200 千円

事業目的	地区計画を決定し、建築規制を緩和した旧母里村役場跡周辺地区及び旧加古村役場跡周辺地区内における建築行為や開発行為に対し補助を行うことで、地域の活性化をめざす。
事業内容	【住宅・店舗等の建築を促進するための新たな建築行為に対する補助】 （補助金名称） 沿道活性化にぎわいづくり補助金 （対象期間） 10年間（令和12年9月17日まで） （補助金額） 住　宅：18万円分の稲美町共通商品券 店舗等：固定資産税（土地・建物・償却資産）相当額の2分の1を3年間 【民間開発事業を誘導するための開発行為に対する補助】 （補助金名称） 沿道活性化にぎわいづくり開発補助金 （対象事業） 都市計画法第29条に基づくもので、町が認定する開発行為 （補助金額） 開発区域内に造成される宅地数に1宅地当たり30万円を乗じた額

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	7,200	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		7,200	千円
計	7,200	千円	計		7,200	千円
前年度当初予算額	7,201	千円				
増減	△ 1	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	土地利用計画策定事業（市街化調整区域）	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	7　田園集落まちづくり事業			事業費	7,793 千円

事業目的

現在の稲美町土地利用計画は、平成15（2003）年3月に策定後、20年が経過し、地域における土地利用の課題が変化していることから見直しを行う。

人口減少や地域課題に対応するため、計画の見直しに合わせて、市街化調整区域に田園集落まちづくりの指定を行うことで、地縁者等の定住による人口流出の抑制や空き家・空き地などの有効活用を促進する。

事業内容

【事業内容】

市街化調整区域の土地利用計画の見直しを行い、各自治会の区域指定の意向に基づく田園集落まちづくりの指定をめざす。

事業期間は令和6年度から令和8年度の3年間

（令和7年度事業）

策定委員会の開催、土地利用計画（案）の策定、関係機関等との協議、住民説明会・自治会ヒアリング、審議会等への事前協議及び意見聴取　等

【対象自治会】

市街化調整区域が関係する49自治会

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	7,793	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		7,793	千円
計	7,793	千円	計		7,793	千円
前年度当初予算額	5,089	千円				
増減	2,704	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	田園集落まちづくり住宅新築促進事業	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	7　田園集落まちづくり事業			事業費	900 千円

事業目的

特別指定区域内の地縁者住宅区域及び新規居住者住宅区域での住宅新築行為に対して補助を行う。

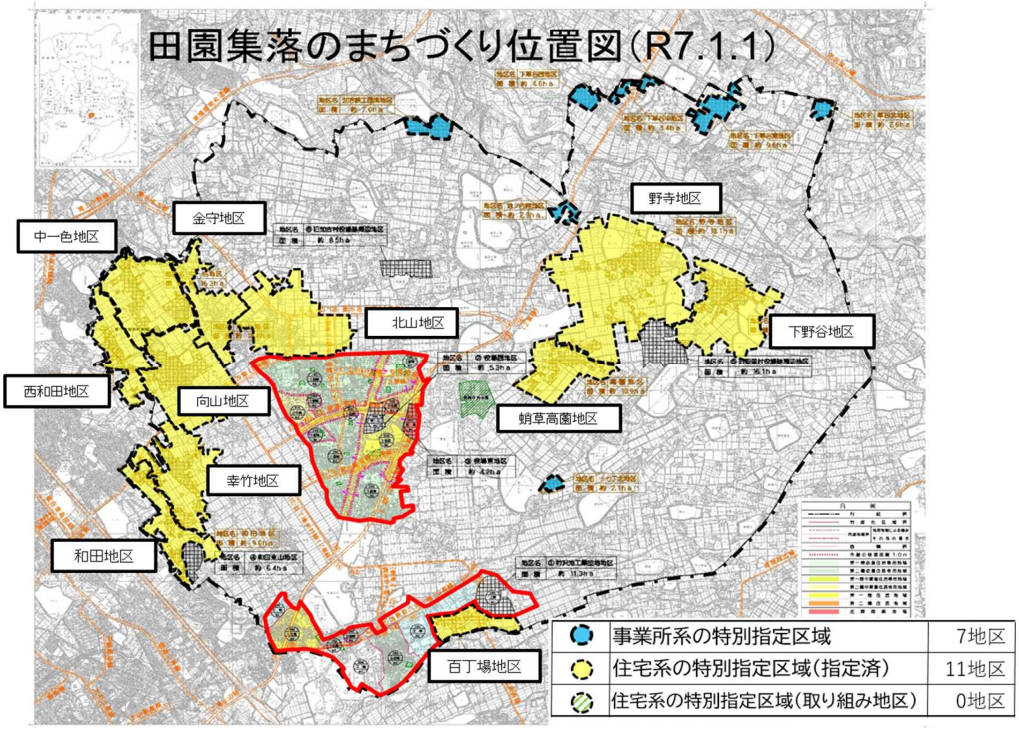
事業内容

（補助金名称）田園集落まちづくり住宅新築促進事業補助金

（対象期間）　区域指定後5年間

（補助金額）　18万円分の稲美町共通商品券

（対象地区）　北山地区（令和4年度指定）、金守地区（令和6年度指定）



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	900	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		900	千円
計	900	千円	計		900	千円
前年度当初予算額	900	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	稲美北東部地区土地利用基本計画策定事業	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	8　都市計画変更業務委託事業			事業費	10,247 千円

事業目的

新たな工業用地の確保と既存工場の活力維持により雇用機会の創出を図るため、令和元年度に策定した「稲美北東部地区土地利用構想」に基づき、地権者や地元住民と協議を行いつつ、土地利用基本計画策定に向けた調整・調査・検討等を行う。

事業内容

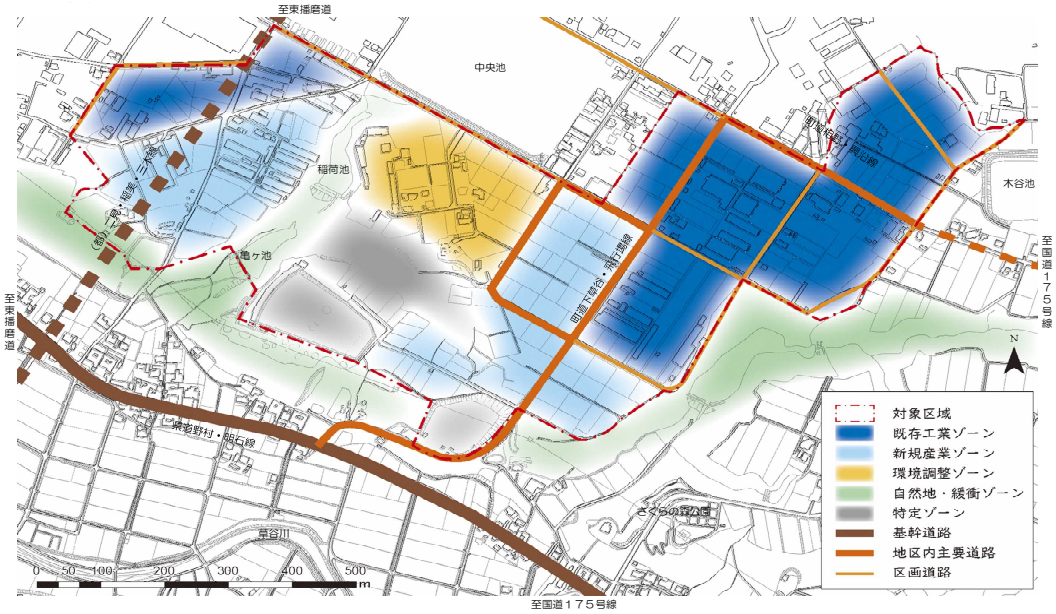
今後の整備に向け、地元調整・企業のニーズ調整等を行いながら、土地利用基本計画の策定をめざす。

（令和7年度事業）

・地元調整支援

・誘致企業調査

■稲美北東部地区



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	10,247	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		10,247	千円
計	10,247	千円	計		10,247	千円
前年度当初予算額	21,780	千円				
増減	△ 11,533	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	菊徳地区土地区画整理事業	区分	重点	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	3　土地区画整理事業費
事業	2　土地区画整理事業一般管理事業			事業費	15,187 千円

事業目的

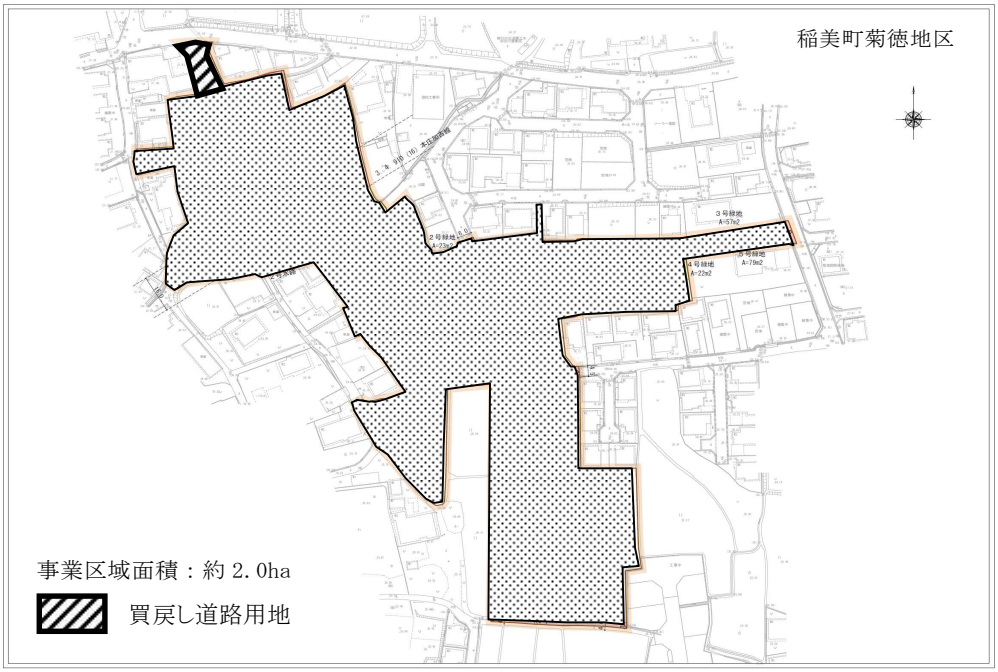
菊徳地区内で残存農地が集積している区域において土地区画整理事業を行い、公共施設の整備及び宅地利用の増進を図り、快適で安全な市街地の形成をめざすため、菊徳土地区画整理組合に対し事業費の補助を行う。

事業内容

（支援内容）　事業費等の補助及び技術的支援
基金で先行買収した道路用地の買戻し　など

（組合事業状況）　区画道路等工事

（事業区域図）



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
公有財産購入費	9,420	千円	特定財源			千円
負担金補助及び交付金	5,767	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		15,187	千円
計	15,187	千円	計		15,187	千円
前年度当初予算額	3,641	千円				
増減	11,546	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	いなみアクアプラザ大規模改修（実施設計）事業	区分	新規	担当課	都市計画課

科目						
	款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	6　公園管理費
	事業	2　健康づくり施設管理運営事業			事業費	14,652 千円

事業目的

健康づくり施設「いなみアクアプラザ」は平成18（2006）年10月に開設し、約20年が経年し老朽化が進んでいる。施設の長寿命化と適正な施設管理を継続するため、大規模改修により機能回復と改善を図る。

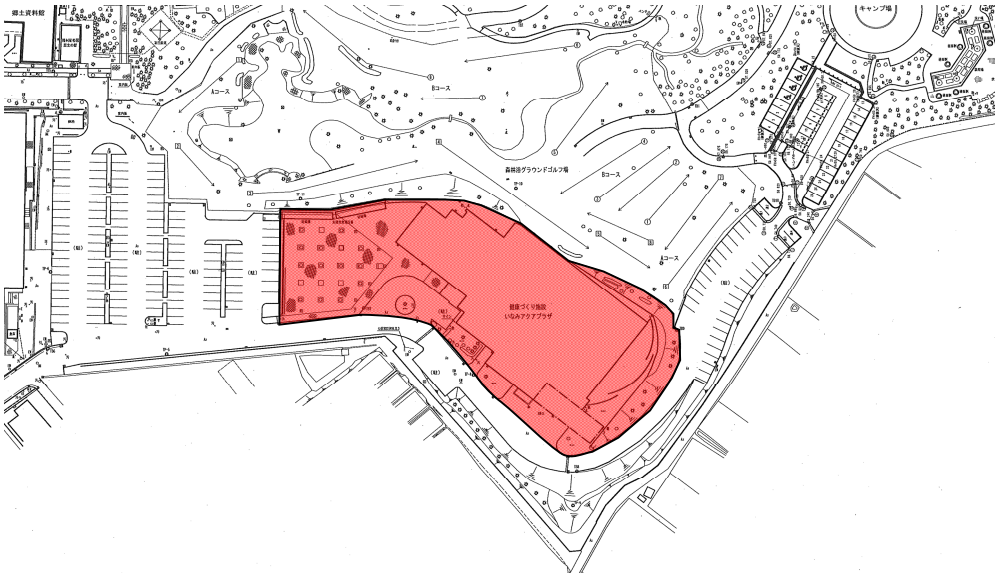
事業内容

健康づくり施設は、平成18（2006）年度に開設、平成29（2017）年度に一部改修工事を行ってから概ね10年を迎えようとしている。令和6年度の長寿命化計画の見直しに合わせ、施設と設備の点検を実施し機能回復・改善項目の確認を行った。令和7年度は、この点検結果を基に大規模改修工事の実施設計を行う。

（内容）　健康づくり施設いなみアクアプラザ大規模改修事業

・令和7年度　実施設計（建築・電気設備・機械設備　等）

・令和8年度～令和10年度　大規模改修工事



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	14,652	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		14,652	千円
計	14,652	千円	計		14,652	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	14,652	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	消防団員処遇改善事業	区分	拡充	担当課	危機管理課

科目					
款	9　消防費	項	1　消防費	目	2　非常備消防費
事業	1　消防団活動事業			事業費	17,263 千円

事業目的

消防団は地域防災力の中核として重要な役割を果たしている。近年、全国各地で災害が多発化・激甚化する一方で、全国の消防団員数は、著しく減少しており、当町でも団員数が定数に達していない状況にある。このままでは、地域防災力の低下が懸念されることから、消防庁において「消防団員の処遇改善等に関する検討会」が開催され、出動報酬の創設や、年額報酬及び出動報酬の基準が策定された。

当町においては、令和5年度に「稲美町消防団活動検討委員会」を開催しその方策について検討を行った。これらを踏まえ、当町における消防団員の処遇改善を図り、消防団を充実強化し、地域防災力の向上を図る。

事業内容

○消防団員の災害等に関する出動について、国が示す「非常勤消防団員の報酬等の基準」に則りその活動に見合った出動報酬を支給する。また、稲美町消防団活動検討委員会の報告を踏まえ、町の人口推計や団員確保が困難な現状を勘案し、定数を約1割削減する。

1. 出動報酬の創設　　災害、警戒に係る出動（4時間以上）：日額　8,000円
　　〃　　（4時間未満）：日額　4,000円
　　訓練等に係る出動　　：日額　3,000円
　　研修、その他活動に係る出動　　：日額　1,000円

2. 定数の見直し
　（現　行）6分団　43部　定数：769人⇒ 694人（令和7年4月1日～）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	17,263	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		17,263	千円
計	17,263	千円	計		17,263	千円
前年度当初予算額	14,731	千円				
増減	2,532	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	ＩＣＴ利活用学校支援事業	区分	拡充	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費
事業	4　ＩＣＴ利活用学校支援事業			事業費	295,903 千円

事業目的

「GIGAスクール構想」を踏まえ、町立学校に通う全児童生徒にタブレット端末を貸与し、多様な子どもたち一人ひとりの能力や適性等に応じた学びや創造性を育むため、ICTを活用した学習活動の充実を図る。

事業内容

【GIGAスクール事業】
令和2年度　通信環境整備（地域BWA）
　　教育用タブレット端末整備（GIGA第1期）
　　端末保管庫整備
令和3年度　児童生徒用端末教育ソフト導入
　　児童生徒用端末保守契約委託
令和4年度　GIGAスクールサポート業務委託
　　小中学校普通教室等光通信設備整備事業
令和5年度　児童生徒用端末教育ソフト「まなびープラス」導入
令和6年度　プログラミング授業用教材「プロロボ」導入
令和7年度　教育用タブレット端末更新（GIGA第2期、2,700台）

【校務用、学習用端末、校務DX】
令和6年度　デジタル採点システム導入、保護者連絡システム「スクリレ」導入
令和7年度　校務用・学習用端末、校務支援システム　更新

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	330	千円	特定財源	国庫支出金	100,224	千円
役務費	20,012	千円				千円
委託料	14,403	千円				千円
使用料及び賃借料	49,745	千円				千円
備品購入費	211,413	千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		195,679	千円
計	295,903	千円	計		295,903	千円
前年度当初予算額	85,129	千円				
増減	210,774	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	幼・小・中一貫した国際理解教育推進事業	区分	重点	担当課	教育課

科目	款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費
	事業	6　魅力あるいなみの教育事業			事業費	28,326 千円

事業目的

幼稚園・小学校・中学校を通じた英語教育全体の充実を図るため、ALT等の外部人材を活用し、グローバル化に対応した教育環境づくりを推進するとともに、中学3年生を対象に英語外部検定試験を実施し、生徒の学習意欲の向上を図る。

事業内容

○外国語科・外国語活動（英語）授業へのALT配置
　令和2年度　【ALT配置5名　29.5時間／週】
　令和3年度　【ALT配置5名　40.0時間／週】
　・外国語科・外国語活動（英語）授業へのALT配置時間の増加
　・外国語科・外国語活動（英語）授業以外での学校生活において外国語に触れる機会が増加
○幼稚園・小中学校教員の英語指導力向上研修の実施
○グローバル意識UP事業の実施
　令和元年度　平成29年度から、幼稚園・小中学校教員の英語活用力の向上のため研修会を実施し、教員の意識向上に努める。
　令和2年度　WEB会議ｼｽﾃﾑを活用しての研修会を実施。
　令和3年度　SDGｓの視点と国際理解教育に係る研修会を実施
○英語外部検定試験
　令和5年度　中学3年生を対象に「読む・書く・聞く・話す」の4技能試験の実施

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	240	千円	特定財源			千円
需用費	190	千円				千円
委託料	27,896	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		28,326	千円
計	28,326	千円	計		28,326	千円
前年度当初予算額	27,405	千円				
増減	921	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	稲美町いじめ防止対策推進条例策定事業	区分	新規	担当課	教育課 人権教育課

科目					
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費
事業	7　生きる力を育むための小・中連携推進事業			事業費	765 千円

事業目的

いじめが児童生徒の生命並びに心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼすものであることを踏まえ、全ての児童生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう基本理念を定め、町、町教育委員会及び保護者の責務や役割を明らかにするとともに、総合的かつ効果的にいじめの防止等のための対策を推進する。

事業内容

■事業内容
総合的かつ効果的にいじめの防止等のための対策を推進するため、稲美町いじめ防止対策推進条例を策定する。

■策定方法
①「稲美町いじめ防止対策推進条例策定委員会」の設置
構成：学識経験者、教育関係者、住民代表者、行政関係者など
会議開催：4-5回(予定)
②条例の対象者や関係者への意見聴取等
・児童、生徒、保護者への意見聴取
・各種委員会での意見聴取

■条例の構成(案)
目的、定義、基本理念、責務(児童生徒、町、町教育委員会、町立学校及び町立学校の教職員)、役割(保護者、(住民))、未然防止のための措置(いじめ防止基本方針)、法律に基づく協議会(いじめ問題対策協議会等)の設置　等

■条例の位置づけ
法律の趣旨を踏まえながらいじめの根絶に向け取り組んでいくこととする。
法律「いじめ防止対策推進法」(H25(2013)法律第71号(平成25(2013).9.28施行))
→　県方針「兵庫県いじめ防止基本方針」　(H26(2014).3策定)
⇒　町条例「稲美町いじめ防止対策推進条例」
→　町基本方針「稲美町いじめ防止基本方針」(H29(2017).8)

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	72	千円	特定財源			千円
印刷製本費	693	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		765	千円
計	765	千円	計		765	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	765	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	不登校児童生徒支援事業	区分	重点	担当課	人権教育課

科目						
	款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費
	事業	9　心の教育充実事業			事業費	5,417 千円

事業目的

ふれあい教室では、児童生徒に心を落ち着けて自己と向き合う時間を作ることで、自立心や社会性等を育てており、教室の機能強化のために、公認心理師を配置し、心理的な側面から悩みや不安を抱えた児童生徒に対しての相談を行うとともに、保護者に対する助言・援助を行う。また、町内の不登校児童生徒が学校以外の場において行う社会的自立に向けた多様で適切な学習活動を支援するため、不登校児童生徒の保護者等に対して民間不登校児童生徒支援施設の利用に要する経費について支援する。

事業内容

○ふれあい教室（教育支援センター）における支援

安心して生活できる「居場所」づくり

家庭から外に出ることや対人関係での不安を取り除き、無理なく通級できるよう配慮する。

学力補充・基礎学力の定着

個々の生徒に応じた学習を計画させ、学力の向上を図る。

学生ボランティアの活用

不登校児童生徒への支援のため、児童生徒と年齢が近く、教育に関心の高い学生がふれあい教室や学校において、不登校児童生徒の活動や学習支援をする。

公認心理師による相談業務

ふれあい教室に公認心理師1名を配置する。

・児童生徒に対する相談・助言

・保護者や教職員に対する相談（カウンセリング、コンサルテーション）

○民間不登校児童生徒支援施設利用料支援交付金

不登校児童生徒の保護者に対し、民間不登校児童生徒支援施設の利用にかかる経費(授業料)を支援する。

補助金額　児童生徒1人につき上限月額15,000円

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	3,495	千円	特定財源	県支出金	656	千円
報償費	92	千円				千円
旅費	128	千円				千円
需用費	32	千円				千円
備品購入費	50	千円				千円
負担金補助及び交付金	1,620	千円	一般財源		4,761	千円
計	5,417	千円	計		5,417	千円
前年度当初予算額	5,558	千円				
増減	△ 141	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	デジタル教科書推進事業	区分	拡充	担当課	教育課

科目	款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費
	事業	1　小学校運営事業			事業費	1,088 千円
科目	款	10　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費
	事業	1　中学校運営事業			事業費	5,184 千円

事業目的

学習指導要領や中央教育審議会答申において、資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められている。また、ICTを適切に活用した学習活動は、学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に資するものであり、各教科等においても求められている資質能力の育成のためには不可欠である。

デジタル教科書等のデジタルコンテンツを最大限に活用しながら、全校児童生徒の資質・能力の育成へと繋げるとともに、学習活動の充実を図る。

事業内容

国では、全ての小中学校等を対象に、小学校5年生から中学校3年生に対して英語のデジタル教科書を無償配布している。

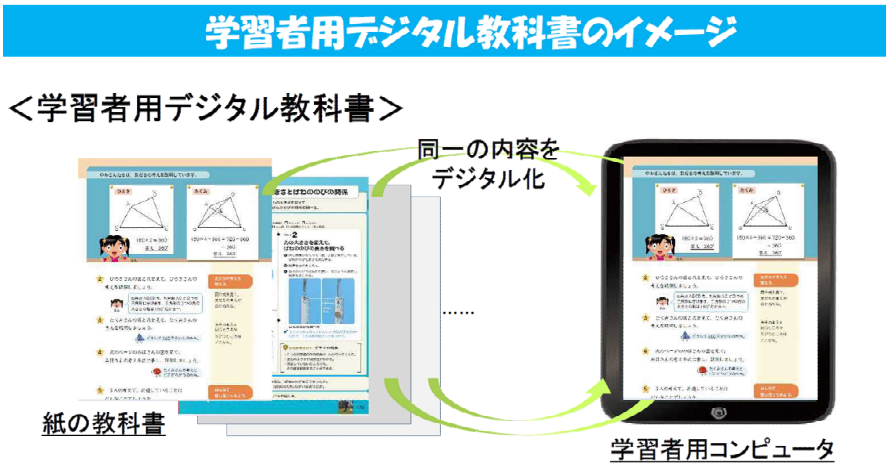
英語に加えて当町では、全ての小学校5年生、6年生の算数、中学生の数学のデジタル教科書を町費により提供する。

(町負担分)

学習者用デジタル教科書

小学校：239千円

中学校：339千円



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	6,272	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		6,272	千円
計	6,272	千円	計		6,272	千円
前年度当初予算額	13,102	千円				
増減	△ 6,830	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	天満小学校長寿命化改修事業	区分	新規	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費
事業	3　小学校施設維持管理事業			事業費	13,849 千円

事業目的

天満小学校は建築後45年が経過し、老朽化が進んでいる。長寿命化改修工事を行うことにより、施設の環境改善に取り組み、児童の安全性を確保し安心感のある施設環境を形成する。

事業内容

令和7年度は学校施設の老朽化の状況を調査し、天満小学校長寿命化改修等検討委員会より広く意見を聴取したうえで整備方針及び基本計画を作成し、令和8年度に長寿命化改修工事の実施設計を行う。

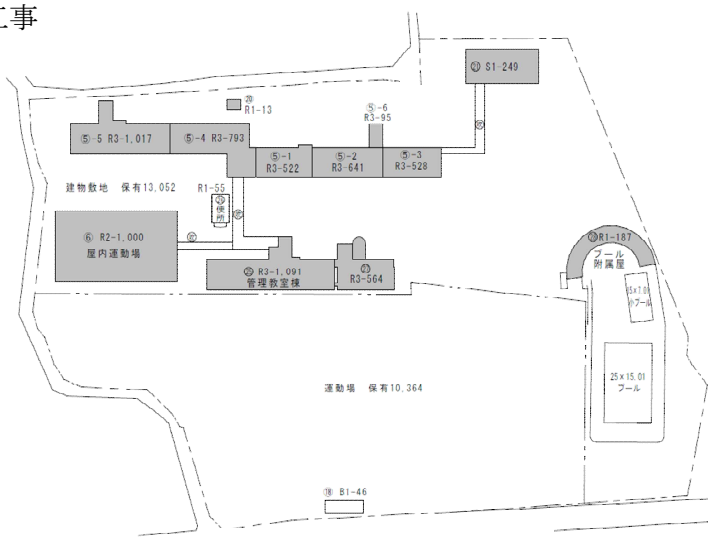
【年次計画（予定）】

○長寿命化改修（前期）

令和 7年度　　長寿命化改修等検討委員会設置
　　老朽化調査及び改修基本計画作成支援業務
令和 8年度　　長寿命化改修実施設計業務
令和 9～12年度　長寿命化改修工事
　　単価入替業務

○長寿命化改修（後期）

令和11年度
　長寿命化改修時点修正業務
令和12年度
　長寿命化改修実施設計業務
令和13～15年度
　長寿命化改修工事
　単価入替業務



（天満小学校配置図）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	84	千円	特定財源			千円
需用費	4	千円				千円
委託料	13,761	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		13,849	千円
計	13,849	千円	計		13,849	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	13,849	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	小学校体育館照明設備等更新事業	区分	繰越	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費
事業	85　小学校施設維持管理事業（明）			事業費	48,390 千円

事業目的

小学校の体育館の照明は、大規模改造事業や体育館照明設備等更新事業により母里小学校、天満小学校、天満東小学校でLED化が完了している。

残る加古小学校、天満南小学校についてもゼロカーボンシティ推進の観点からLED照明へ更新する。

事業内容

学校体育館照明設備等更新事業

令和6年度　加古・天満南小学校体育館照明設備等改修実施設計業務

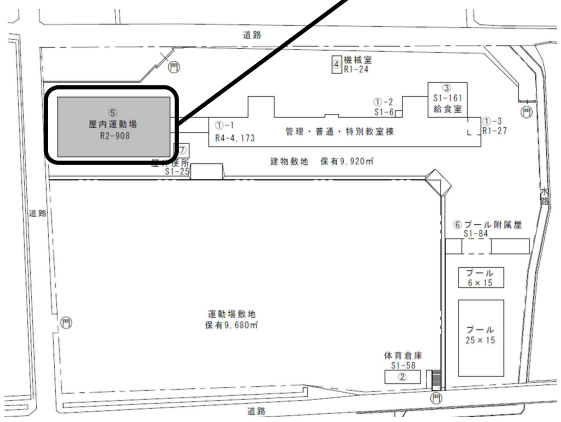
令和7年度　加古・天満南小学校体育館照明設備等改修工事

加古・天満南小学校体育館照明設備等改修監理業務

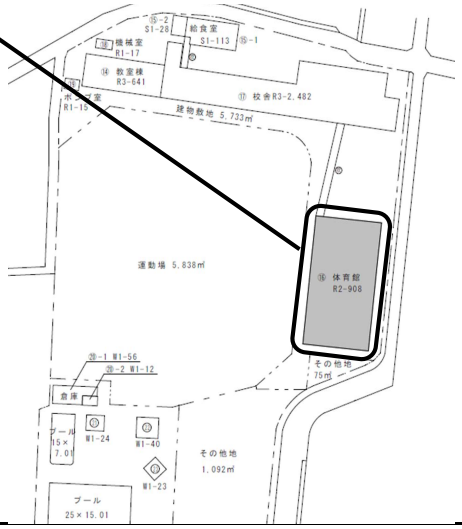
【整備状況】
天満東小学校
平成26(2014)年度
整備
母里小学校
天満小学校
令和6年度整備

体育館

（天満南小学校配置図）



（加古小学校配置図）



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	3,644	千円	特定財源	国庫支出金	5,965	千円
工事請負費	44,746	千円		町債	11,600	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		30,825	千円
計	48,390	千円	計		48,390	千円
前年度当初予算額	－	千円				
増減	－	千円				

令和６年度　予算主要施策

事業名	中学校エレベーター設置事業	区分	繰越	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費
事業	85　中学校施設維持管理事業（明）			事業費	91,585 千円

事業目的

　バリアフリー法の改正（令和2年5月公布、令和3年4月施行）を踏まえ、文部科学省において「公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する整備目標」が示され、その中で要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校施設にエレベーターを整備することが目標として定められた。また、県の「福祉のまちづくり条例」においても「多数の者が利用する建築物」として学校等に適用された。

　学校施設におけるバリアフリー化を一層推進していく観点から、要配慮児童生徒の移動や学習等の教育活動を円滑に行うため、エレベーターを設置する。

事業内容

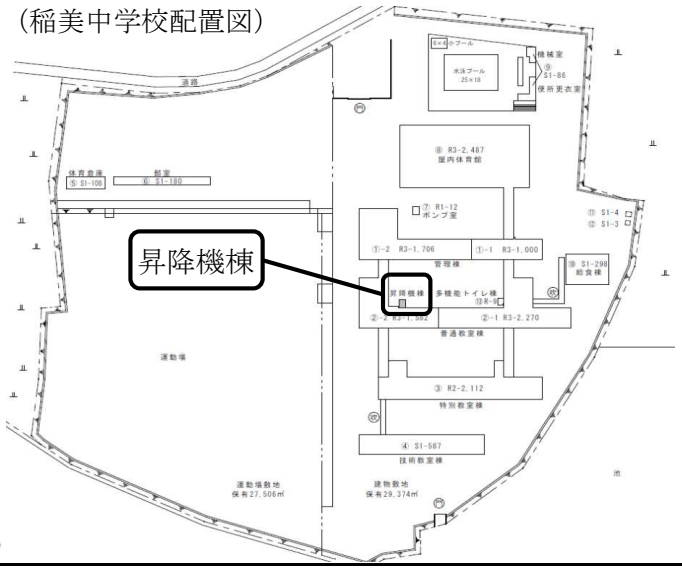
稲美中学校にエレベーターを設置する。

〇年次計画

　令和6年度　稲美中学校昇降機設置実施設計業務

　令和7年度　稲美中学校昇降機設置工事、監理業務

（稲美中学校配置図）



【整備状況】
稲美北中学校
平成27(2015)年度整備

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	8,718	千円	特定財源	国庫支出金	15,254	千円
工事請負費	82,867	千円		町債	14,900	千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		61,431	千円
計	91,585	千円	計		91,585	千円
前年度当初予算額	－	千円				
増減	－	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	中学校部活動地域移行推進事業	区分	拡充	担当課	教育課 生涯学習課 文化の森課

科目					
款	10　教育費	項	3　中学校費	目	2　教育振興費
事業	4　中学校部活動地域移行推進事業			事業費	8,094 千円

事業目的

中学校部活動は、スポーツ・文化芸術に興味・関心のある生徒が、教員の指導のもとで、学校教育として放課後・休日に活動している。

国が示している働き方改革を踏まえた部活動改革並びに、運動部活動・文化部活動それぞれの地域移行に関する検討会提言や学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁・文化庁）を基にし、休日の部活動の段階的な地域移行を行う。

令和7年度も引き続き、学校、地域、各種団体と検討協議を行うための地域移行推進協議会を設置するとともに、部活動の地域連携や地域クラブ活動を試行する。

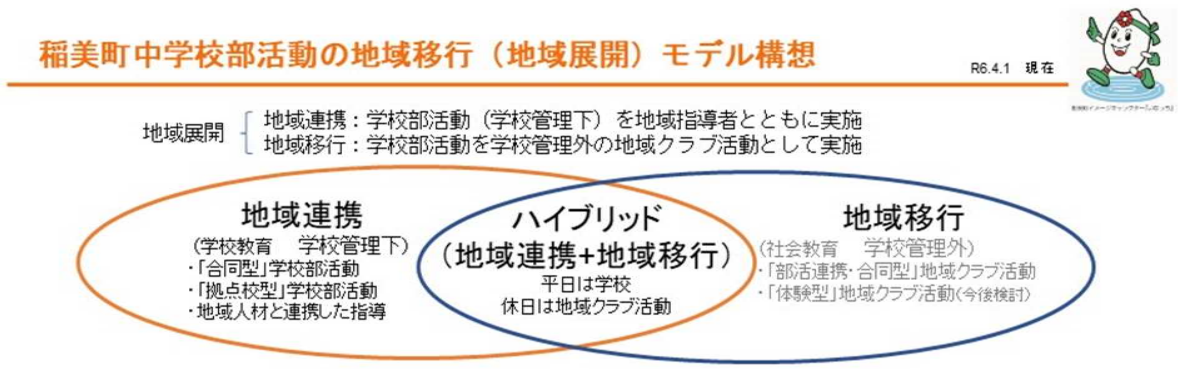
事業内容

■令和7年度

令和6年度の協議会での方向性、地域指導者による指導の試行の状況を踏まえ、学校部活動や地域クラブ活動の運営体制をさらに整える。

■令和8年度

「部活動の地域展開」として、休日の活動について、地域指導者による指導（地域連携、地域クラブ活動）を実施する。



予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	4,400	千円	特定財源			千円
報償費	2,578	千円				千円
旅費	289	千円				千円
需用費	6	千円				千円
役務費	327	千円				千円
委託料	163	千円				千円
使用料及び貸借料	331	千円	一般財源		8,094	千円
計	8,094	千円	計		8,094	千円
前年度当初予算額	6,985	千円				
増減	1,109	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	人権教育啓発事業	区分	重点	担当課	人権教育課

科目						
	款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	2　人権教育費
	事業	2　人権教育啓発事業			事業費	4,504 千円

事業目的	人権を認めあう人づくり、まちづくりの推進に向け、部落差別の問題をはじめとする様々な人権課題の解決をめざして、人権啓発活動を推進するとともに、児童生徒に対する人権教育や地域における人権学習と交流を通じて、住民の人権意識を高め、差別や偏見のない地域社会の構築をめざす。
事業内容	人権教育啓発事業 ○ふれあい学習会 町内の全自治会とその地域住民を対象に、人権学習会を実施する。 ○人権啓発講座「ほっとホットセミナー」 さまざまな人権課題に対する理解と認識を高めるために、年5回開催する。 ○学校園保護者等研修会 学校園の保護者等の人権研修について研修費用を支援する。 ○いなみ人権・福祉フェスティバル 町制70周年を記念して心のふれあう温かい人間関係を築き、お互いの人権を尊重する。 明るいまちづくりをめざすため、人権週間と障害者週間の時期に合わせ開催する。 ○じんけんわくわくスクール 体験学習を通じて人権課題の解決への力を養う講座を実施する。 ○人権教育啓発冊子作成 人権尊重の文化に満ちたまちづくりをすすめるために、人権啓発誌を作成する。 ○稲同協補助金・企同協補助金 部落問題をはじめとして、さまざまな人権課題の解消に取り組む団体に補助する。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	664	千円	特定財源	県補助金	205	千円
旅費	140	千円				千円
需用費	714	千円				千円
役務費	54	千円				千円
委託料	250	千円				千円
使用料及び貸借料	441	千円				千円
負担金補助及び交付金	2,241	千円	一般財源		4,299	千円
計	4,504	千円	計		4,504	千円
前年度当初予算額	4,506	千円				
増減	△ 2	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	放課後児童クラブ管理運営事業	区分	重点	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	4　青少年指導育成費
事業	1　放課後児童クラブ管理運営事業			事業費	55,777 千円

事業目的

放課後に保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に通うこどもたちに、家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるように支援する。

事業内容

○放課後児童クラブの運営

指定管理により町内全9放課後児童クラブの統一した運営を行う。

・指定管理者　　：　キャレオス 株式会社

・指定管理期間　：　令和5年度 ～ 令和9年度(5年間)

○放課後児童クラブの状況

名　称	住　所	専用面積 (保育室・養生室等)	定員①	利用可能人数 ①×1.2
加古放課後児童クラブ	加古2322番地の1	64.80㎡	39人	46人
母里第1放課後児童クラブ	野寺88番地の1	63.00㎡	38人	45人
母里第2放課後児童クラブ	野寺88番地の1	63.00㎡	38人	45人
天満第1放課後児童クラブ	国岡538番地	127.52㎡	77人	92人
天満第2放課後児童クラブ	国岡538番地	85.77㎡	51人	61人
天満第3放課後児童クラブ	国岡538番地	138.08㎡	80人	96人
天満南放課後児童クラブ	森安81番地	63.70㎡	38人	45人
天満東第1放課後児童クラブ	岡1500番地	78.25㎡	47人	56人
天満東第2放課後児童クラブ	岡1500番地	54.00㎡	32人	38人

○放課後児童クラブ改修の内容（予定）

・天満南放課後児童クラブ　ランドセル収納棚改修工事

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	300	千円	特定財源	国庫支出金	18,299	千円
委託料	45,034	千円		県支出金	18,299	千円
工事請負費	880	千円				千円
負担金補助及び交付金	9,563	千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		19,179	千円
計	55,777	千円	計		55,777	千円
前年度当初予算額	54,279	千円				
増減	1,498	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	町史編さん事業	区分	70	担当課	生涯学習課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	1　社会教育総務費	
事業	2　社会教育活動に要する会計年度任用職員給与費			事業費	7,172 千円	
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	5　資料館費	
事業	3　町史編さん事業			事業費	3,110 千円	

事業目的

稲美町史の発行から約40年が経過し、新たな町史を発行する。総合的で体系化された町史を編さん・発行することにより、住民の郷土に対する愛着の醸成を図るとともに、町に関する貴重な歴史資料を網羅的に収集、整理、保存し、次の世代につないでいく。

事業内容

令和7年度は70周年記念事業として、町史編さん事業の取組みに関する記念講演会を開催する。

令和8年度からは、年次的に「加古地区編」「母里地区編」「天満地区編」を発行、令和12年度に「通史編」、令和13年度に「史料編」の発行を目標とする。

令和7年度(70周年)　編さん委員会、記念講演会開催
令和8年度　編さん委員会、「加古地区編」発行予定
令和9年度　編さん委員会、「母里地区編」発行予定
令和10年度　編さん委員会、「天満地区編」発行予定
令和11年度　編さん委員会、「通史編」、「史料編」発行に向けて作業
令和12年度(75周年)　編さん委員会、「通史編」発行予定
令和13年度　編さん委員会、「史料編」発行予定

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	1,020	千円	特定財源			千円
職員給与費	7,172	千円				千円
報償費	1,238	千円				千円
旅費	80	千円				千円
需用費	129	千円				千円
役務費	176	千円				千円
委託料	187	千円				千円
使用料及び賃借料	165	千円				
備品購入費	115	千円	一般財源		10,282	千円
計	10,282	千円	計		10,282	千円
前年度当初予算額	7,947	千円				
増減	2,335	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	文化会館舞台音響設備等改修事業	区分	新規	担当課	文化の森課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	8　文化の森費	
事業	3　文化の森管理運営事業			事業費	49,892 千円	

事業目的	文化の森は、建築後32年が経過し老朽化が進んでいる。今年度は、文化会館（コスモホール）の音響設備の改修を行い、快適な施設環境の整備を図る。

事業内容	【施設改修工事査定審査支払業務】 施設改修査定審査業務 【施設改修工事】 文化会館（コスモホール）舞台音響設備出力系及び音響調整卓更新 プロセニアムスピーカー サイドスピーカー ステージフロントスピーカー パワーアンプ架内機器 音響調整卓 電動吊マイク装置 シーリングスピーカー

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	392	千円	特定財源			千円
工事請負費	49,500	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		49,892	千円
計	49,892	千円	計		49,892	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	49,892	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	子どもの読書活動推進計画策定事業	区分	新規	担当課	文化の森課

科目					
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	11　図書館費
事業	1　図書館管理運営事業			事業費	72 千円

事業目的	「子どもの読書活動の推進に関する法律」や、県の「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を基に、「稲美町子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動に関する意義を普及するとともに、読書環境を整備し、学校・家庭・地域をはじめとした社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図る。
事業内容	令和6年度に実施した子どもの読書に関するアンケートの結果をふまえ、図書館協議会や関係機関において協議を行いながら「稲美町子どもの読書活動推進計画」を策定する。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	72	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		72	千円
計	72	千円	計		72	千円
前年度当初予算額	72	千円				
増減	0	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	トップアスリート招待事業	区分	70	担当課	生涯学習課

科目					
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	1　保健体育費
事業	1　生涯スポーツ推進事業			事業費	1,303 千円

事業目的	
	稲美町スポーツ推進計画の基本目標のひとつである「“する・みる・ささえる”スポーツの推進」を実現するため、トップアスリートを招待して講演会やスポーツ教室を開催し、スポーツに親しむきっかけづくりの場を提供する。また、トップアスリートに接することにより競技の楽しさや難しさなどを間近で感じることで、スポーツの楽しさを共有するとともに、運動・スポーツを楽しむ習慣を身につけ、世界に羽ばたくスポーツ選手が育つオンリーワンな人づくり、まちづくりの実現をめざす。

事業内容	
	トップアスリートを招待して講演会やスポーツ教室等を開催する。令和7年度は、町制施行70周年を記念して、著名なトップアスリートを招待して講演会を実施する。 令和5年度（卓球） 四元奈生美さん 令和6年度（陸上） 山陽特殊製鋼陸上競技部選手（6人） 福田有以さん（元ユニクロ女子陸上部） 松井　晶さん（愛媛銀行女子陸上部） 八木美羽さん（岩谷産業陸上競技部）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	39	千円	特定財源			千円
需用費	140	千円				千円
委託費	1,000	千円				千円
使用料及び賃借料	124	千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		1,303	千円
計	1,303	千円	計		1,303	千円
前年度当初予算額	1,000	千円				
増減	303	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	アーバンスポーツ施設整備事業	区分	新規	担当課	生涯学習課

科目					
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	2　体育施設費
事業	2　スポーツ施設管理運営事業			事業費	130,302 千円

事業目的

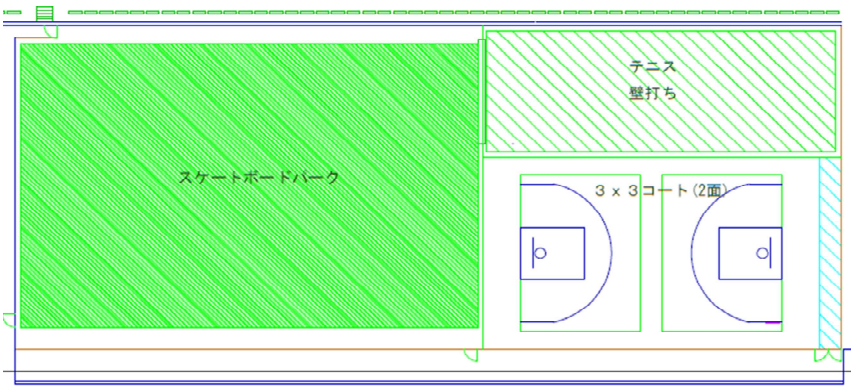
稲美町スポーツ推進計画の基本理念である「“する・みる・ささえる”スポーツを推進し、すべての住民が生涯スポーツを楽しむことができる環境づくり」を実現するため、アーバンスポーツ施設の整備を進め、スポーツ人口の拡大や生涯スポーツの振興、地域の活性化や魅力あるまちづくりにつなげ、青少年健全育成の一翼を担う社会インフラ施設のひとつとなることをめざす。

事業内容

アーバンスポーツ施設の整備工事を行う。

整備にあたっては、利用者目線に立ったアーバンスポーツ施設となるように努め、スケートボードパークとあわせて、3×3のコートの整備及びテニス壁打ちコートのリニューアル工事を行い、アーバンスポーツ施設が、多くの人が集まり、スポーツを通じて住民どうしの交流が広がる場所となるよう整備を進める。

◆アーバンスポーツ施設整備工事
　スケートボードパークの整備
　3×3コートの整備
　壁打ちテニスコートの再整備



アーバンスポーツ施設整備計画図（案）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,961	千円	特定財源	諸収入	20,000	千円
工事請負費	127,341	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		110,302	千円
計	130,302	千円	計		130,302	千円
前年度当初予算額	6,851	千円				
増減	123,451	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	いなみ野体育センター空調設備設置事業	区分	新規	担当課	生涯学習課

科目						
	款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	2　体育施設費
	事業	2　スポーツ施設管理運営事業			事業費	168,326 千円

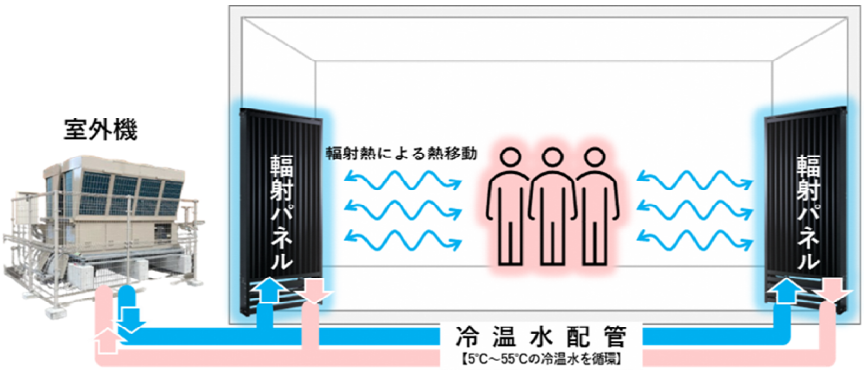
事業目的

稲美町スポーツ推進計画の基本目標のひとつである「身近なスポーツ環境・プログラムの整備」の実現のため、いなみ野体育センター（昭和60（1985）年建築）に空調設備を整備し、施設利用者の利便性の向上を図る。また、災害時の避難場所にも指定されており、災害時における住民の安全安心につなげる。

事業内容

令和6年度に実施した、いなみ野体育センター空調設備基礎調査業務により、熱源を都市ガスとしたGHP（ガスヒートポンプ）の壁輻射式空調がいなみ野体育センターに最も適した空調の方式であることが確認されている。令和7年度は、令和6年度の後半から実施したいなみ野体育センター空調設備実施設計に基づき、空調設備設置工事を行う。

◆いなみ野体育センター空調設備設置工事
　設備関係工事　一式
　建築関係工事　一式



壁輻射式空調の概要図（案）

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	6,743	千円	特定財源	町債	168,300	千円
工事請負費	161,582	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		25	千円
計	168,325	千円	計		168,325	千円
前年度当初予算額	4,994	千円				
増減	163,331	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	学校給食費管理事業	区分	拡充	担当課	教育課

科目					
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	3　学校給食費
事業	6　学校給食費管理事業			事業費	158,806 千円

事業目的

小中学校で提供している学校給食費の徴収や管理を町が実施することで、教員の負担軽減を行うとともに、学校給食の安定的な実施と充実を図る。

また、社会情勢などの影響による食材価格の高騰が続いている中で、現在の食材価格の水準で必要となる食材費と、保護者が負担する給食費との差額を町が負担することにより、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

事業内容

【学校給食管理業務】
- 学校給食費の口座振替等徴収業務
- 学校給食物資の支払業務
- 標準化に伴う学校給食費管理システムの改修業務

【単価上昇に伴う徴収】
（令和7年度予算　積算単価）
保護者負担分　　：（歳入予算）小学校給食費は257円／食、中学校給食費は290円／食
1食あたりの食材費：（歳出予算）小学校給食費は310円／食、中学校給食費は360円／食
※積算単価の差額分（小学校給食費53円、中学校給食費70円）は町負担

【給食費単価】

※町負担分予算額 約2,500万円

学校給食食材物価上昇分支援交付金（R6予算額：1,947万2千円）		町負担分（単価上昇分を町が負担）小学校 53円／食、中学校 70円／食
令和6年度 小学校 257円／食 中学校 290円／食	⇒	令和７年度 小学校 310円／食 中学校 360円／食
		保護者負担分（負担額据え置き） 小学校 257円／食、中学校 290円／食

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	155,383	千円	特定財源	諸収入	130,551	千円
役務費	634	千円				千円
委託料	2,789	千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		28,255	千円
計	158,806	千円	計		158,806	千円
前年度当初予算額	13,573	千円				
増減	145,233	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	西部配水場更新事業	区分	重点	担当課	水道課

科目					
款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　工事費
事業	西部配水場更新事業			事業費	1,368,433 千円

事業目的

西部配水場は建築後52年が経過し老朽化が進んでいる。安全安心なおいしい水の供給を維持するため、令和5年度から3か年で更新工事を行う。

更新工事に合わせ、第1配水池を適正な容量に縮減し、吸水槽を多層化し施設の高効率化を図る。

事業内容

建築後52年を経過した西部配水場の改修、第1配水池の改築等を行う。また、配水機能を改築する第1配水池へ移設し、第1配水池を配水場及び配水池とする。既配水場は、配水管理施設として活用する。

なお、既存施設の外壁塗装に含まれるアスベスト対策も同時に実施する。

工事期間　令和5年8月～令和8年3月（債務負担行為による3か年事業）

【配水場・第１配水池完成予想図】

※配水場、第2・3配水池の外壁及び防水改修(既存塗料に含まれるアスベスト対策)は令和6年度に実施済み。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	21,120	千円	特定財源	企業債	538,900	千円
工事費	1,347,313	千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		829,533	千円
計	1,368,433	千円	計		1,368,433	千円
前年度当初予算額	1,030,900	千円				
増減	337,533	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	稲美町水道事業経営戦略策定事業	区分	新規	担当課	水道課

科目						
	款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　工事費
	事業	稲美町水道事業経営戦略策定事業			事業費	3,267 千円

事業目的	稲美町水道事業経営戦略は、計画期間を令和3年度からの10年間とし水道ビジョン策定に合わせ、水道事業の計画的かつ合理的な経営を行うことによる収支改善等を通じた経営基盤の強化を図るため令和2年度に策定した。 計画策定から5年が経過するため、水道使用量減少に伴う料金収入の減少と施設の老朽化等の対策費用の確保のための料金改定、物価高騰による維持管理費や資材価格の上昇による費用の増加など、水道事業を取り巻く環境の変化などを考慮した経営戦略の見直しを行う。
事業内容	○稲美町水道事業経営戦略 計画期間　令和3年度 ～ 令和12年度（10年間） 過去5年間の実績、今後5年間の計画とそれに伴う概算事業費等を考慮した経営戦略に見直す。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	3,267	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		3,267	千円
計	3,267	千円	計		3,267	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	3,267	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	稲美町下水道事業経営戦略策定事業	区分	新規	担当課	水道課

科目	款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　汚水管渠建設改良費
	事業	稲美町下水道事業経営戦略策定事業			事業費	7,425 千円

事業目的	稲美町下水道事業経営戦略は、計画期間を令和3年度からの10年間として、下水道事業の計画的かつ合理的な経営を行うことによる収支改善等を通じた経営基盤の強化を図るため令和2年度に策定した。 計画策定から5年が経過するため、物価高騰による維持管理費や資材価格の上昇による費用の増加や農業集落排水施設の公共下水道事業への統合など、下水道事業を取り巻く環境の変化などを考慮した経営戦略の見直しを行う。

事業内容	○稲美町下水道事業経営戦略 計画期間　令和3年度 ～ 令和12年度（10年間） 過去5年間の実績、今後5年間の計画とそれに伴う概算事業費等を考慮した経営戦略に見直す。

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	7,425	千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		7,425	千円
計	7,425	千円	計		7,425	千円
前年度当初予算額	0	千円				
増減	7,425	千円				

令和７年度　予算主要施策

事業名	下水道広域化推進総合事業	区分	重点	担当課	水道課

科目					
款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　汚水管渠建設改良費
事業	下水道広域化推進総合事業			事業費	0 千円

事業目的

稲美町公共下水道事業は、加古川下流流域下水道事業として公共下水道計画区域を設定し、昭和63（1988）年度に事業認可を受け計画的に事業を実施している。また、公共下水道計画区域以外の区域は、農業集落排水事業等を活用し生活排水の処理を行っている。

国は「経済・財政再生計画改革工程表2017改定版」において、持続的な下水道運営に向けた「広域化・共同化計画」を令和4年度までに策定する目標を設定し、兵庫県は令和5年3月に「兵庫県生活排水広域化・共同化計画」を策定し、農業集落排水処理場を含む下水道処理施設の統合に向けた計画が示された。

当町の農業集落排水事業は、下草谷地区外7地区を整備し生活排水の処理を行っている。

各地区の処理場は、平成24（2012）年度から平成30（2018）年度に処理槽や機器等の大規模改修を実施しているが、建築後約20年を経過した建物や機器の老朽化に伴う維持改修に多額の費用が想定されるため、農業集落排水事業区域を公共下水道事業区域に統合し、稲美町の生活排水の安定した処理と効率化を図る。

事業内容

兵庫県生活排水広域化・共同計画（計画期間：令和4年度～令和33年度（30年間））

令和7年度は、令和6年度に作成した汚水処理施設整備構想を基に、令和8年度以降に予定している都市計画及び下水道事業計画の変更に向け、県及び関係市町と調整、協議を行う。

農業集落排水区域の公共下水道計画区域への編入計画（予定）

令和6－7年度	加古川下流流域下水道関連団体との協議
	汚水処理施設整備構想の策定
令和8年度	都市計画事業の変更認可申請
	生活排水処理計画の変更
令和8－9年度	加古川流域下水道事業認可変更申請【県】
	稲美町公共下水道事業計画認可変更申請

予算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
		千円	特定財源			千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円				千円
		千円	一般財源		0	千円
計	0	千円	計		0	千円
前年度当初予算額	22,220	千円				
増減	△ 22,220	千円				

町制施行70周年記念事業　主要事業一覧

No.	事業名	実施時期（予定）
1	70周年カウントダウン	令和7年2月～3月
2	住民企画支援事業	令和7年4月～
3	町勢要覧作成	令和7年7月
4	町制施行70周年記念式典	令和7年11月1日（土）
5	みんなでお祝い『＃いなみ70』	通年
6	周年事業啓発事業	通年
7	70周年記念動画コンテスト	未定
8	記念切手の販売	未定
9	巡回ラジオ体操・みんなの体操会	令和7年7月21日（月・祝） ～8月31日（日）のうち1日
10	子育て支援事業親子コンサート	令和8年1月18日（日）
11	70周年アマチュア無線記念局の開設	通年
12	地球温暖化防止講演会	令和7年9月6日（土）
13	70周年記念花火大会	令和7年11月1日（土）
14	子ども議会	令和7年8月
15	学校給食人気投票・学校給食展	未定

会場等	内容	担当課
町内	令和7年3月31日に向け、住民等に出演してもらい、カウントダウンを町ホームページ上で実施することで、住民の皆さんの機運醸成を図る。	企画課
－	住民協働のまちづくりを推進するため、住民団体等が自ら企画、実施する70周年をともにお祝いする事業に補助金を交付する。	
－	町勢要覧及び70周年記念動画を制作する。	
コスモホール	町功労者に対する感謝と敬意を表するとともに、70周年の節目を住民の皆様とともに祝う。	
町内	住民参加型事業として、インスタグラムで投稿できる「＃いなみ70」で70周年を住民とともにお祝いする。	
－	各種啓発グッズを作製し、70周年を広く周知する。	
町内	町の魅力をPRするショート動画を一般公募し、町ホームページ・町公式YouTubeチャンネル、デジタルサイネージ等で放映する。	
町内の郵便局等	70周年を記念して、オリジナルフレーム切手を作成し、町内の郵便局等で販売する。	
稲美中央公園グラウンド	住民が一堂に会して運動することにより、楽しさや喜びを享受し、健康で豊かに暮らすことができるよう、健康増進及び介護予防・フレイル予防を図る。	健康福祉課
コスモホール	就学前の親子などが、一緒に歌って踊って楽しい時間を過ごすコンサートを開催する。	こども課
コスモホールなど	70周年を記念してアマチュア無線局を開設し、70周年をPRするとともに、稲美町の情報、魅力等を発信する。	危機管理課
コスモホール	地球温暖化防止に関する内容で、最近の異常気象についての内容を中心に講演会を開催する。	生活環境課
町内3か所	記念式典開催日の夜に花火を町内3か所で打ち上げる。	産業課
議場	70周年を記念し、次代を担う子どもたちが「子ども議会」の体験を通して議会の仕組みを理解するとともに、自らまちづくりに参画していこうとする意識の醸成を図る。	議会事務局
ふれあい交流館	全校生アンケートで児童生徒に好きな学校給食メニューの主菜を投票してもらい、上位となったメニューを学校給食展で試食してもらうことで広く周知する。	教育課

No.	事業名	実施時期（予定）
16	稲美町史編さん記念講演会	未定
17	トップアスリート招待事業	未定
18	文化会館管理運営事業（コスモホール文化振興協会自主事業）	通年

会場等	内容	担当課
ふれあい交流館 2階ホール	70周年と町史の新規編さんを記念し、住民等を対象とした記念講演会を開催し稲美町のこれまでの歩みを振り返るとともに郷土愛の醸成を図る。	生涯学習課
コスモホール	トップアスリートを招待して講演会を開催し、スポーツに親しむきっかけづくりの場を提供する。	
コスモホール	自主事業の内容を拡充して実施し、コスモホールの利用促進・拡大を図るとともに、芸術・創造活動の育成を進め、文化の振興を図る。	文化の森課